



糸魚川市立磯部小学校

所在地 糸魚川市大字筒石 500

校長 石口 昇

教頭 猪田 謙

TEL 025(567)2200 Fax 025(567)2902

Email isobesho@itoigawa.ed.jp

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S44 磯部地区6か校が統合（筒石、徳合、仙納、藤崎、大洞、百川）
S45 実質統合により、校舎新築・落成
S61 優良PTA文部大臣表彰受賞
S63 高速北陸道のトンネル工事に伴う土砂により、グラウンドを整備
H6 筒石漁協の協力による地引網体験活動の開始
H23 旧磯部中学校体育館を本校体育館として使用開始
H25 校舎改築工事により新校舎完成体育館改修工事完了
H30 創立50周年記念式典挙行
R1 優良PTA文部科学大臣表彰受賞

(2) 教育課題

- 表現力・思考力・判断力等の育成
- 互いを認め合い尊重する心や態度の育成
- 安全教育・防災教育・特別支援教育の推進
- 生活習慣の改善や体力向上への支援
- 自ら、課題や問題の解決に取り組む主体性の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「学び続ける子 互いに認め合う子 健やかに育つ子」

(2) 求める子どもの姿

- ふるさと磯部を愛する子ども
- 自ら学び、対話により、考えを広げ、深める子ども
- 相手の気持ちを考え、正しく行動できる子ども
- 運動に親しみ、よりよい生活習慣を築く子ども

(3) 重点目標達成のための方策

「学びプロジェクト」「心・体プロジェクト」、の二つのプロジェクトで具体的な取組事項と評価項目を協議・検討し、実践を推進する。

【確かな学びに向けた方策】

- 共に学び、対話により自分の考えを広げる授業の展開
- 『ふるさと磯部（人・もの・こと）』を中心としたキャリア教育の推進

2025年度学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級	1		1		1		1	4
男子	2	0	2	2	2	3	2	13
女子	2	2	2	2	2	3	0	13
計	4	2	4	4	4	6	2	26

●望ましい学習習慣の定着

●『学力向上計画』の推進と、家庭と連携した取組の充実

【豊かな心・健やかな体に向けた方策】

- 互いのよさを認め合い、適切な関わりを助長する活動の実施
- 気持ちのよいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉づかいの定着
- 家庭と連携して行うメディアとの適切な付き合い方の確立
- 様々な運動に取り組もうとする態度の育成

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- ・自ら学び、自ら表現し、考えを深め合おうとする意欲を高め、基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力等を育てる。

(2) 特別の教科 道徳

- ・「考え、議論する道徳」の充実に向け、道徳的価値に関する体験活動や問題解決学習などを効果的に取り入れ、価値の主体的自覚を促す指導に努める。

(3) 外国語活動

- ・外国の言語や文化への興味・関心を高めるとともに、異文化への理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

- ・主体的に人・もの・ことと関わり、自ら課題をもち、探究的・協働的に解決しながら、進んで自分の思いや願いなどを表現する力を育てる。課題を見付け、主体的に解決していく力を育てる。

(5) 特別活動

- ・児童一人ひとりが自分の考えをもって参加し、合意形成を図りながら、進んで活動しようとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- ・自他のよいところに気付き、互いに認め合う子の育成
- ・社会性を身につけ、望ましい人間関係を結ぶ子の育成
- ・不登校やいじめのない学校づくりの推進

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 助け合い、励まし合う温かい学級集団の育成に努める。
- 毎月、心のアンケートを実施後、教育相談を行い、いじめや児童の悩みや困り感など児童の実態に寄り添い指導にあたる。
- 定期的に訪問する相談員やスクールカウンセラーと連携し、問題の未然防止、早期発見、早期解決を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら学び、対話により、考えを広げる子の育成」～国語科における直接・間接指導の充実を目指した複式の授業づくり～（3年次）

(2) 研究の内容

- 授業研究 (①対話場面を活用した児童の主体性を育む直接・間接指導（わたり）のあり方、②対話の必然性のある課題や発問の吟味、③対話を広げ、考えを深めるための視覚的ツールの活用、④対話で目指す児童の姿の支援と次の指導につながる評価のあり方)
- 日々の教育活動における対話のための技能向上と目指す姿の明確化と共有

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、中学校区での共通取組事項でもあるキャリア教育と関連づけて、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようとする。

- ①低学年…動植物を育てる活動を通して動植物も自分と同じように生きていることに気付くとともに、命を大切にできるようになる。
- ②中学年…磯部地区の自然やそこに暮らす人々の暮らしを学ぶことにより、地域のよいところに気付き、地域を好きになる。
- ③高学年…地域の産業（農業、漁業、観光）について自然環境や人材から学ぶことを通して、現在、そして未来の磯部地区について考え、発信する。

(2) キャリア教育

「ふるさとへの愛着をもち、自分のよさや特性に気付き、将来への夢や希望をもち、その実現に向けて主体的に学び続ける児童」を育成する。

- ①低学年…係や当番の仕事など自分の身の回りのことを友だちと協力し最後までやる。
- ②中学年…社会科や総合的な学習の時間での地域探検や地域の人との交流から、地域に興味を

持ち、働くことの大切さに気付く。

- ③高学年…地域の特色やよさを理解し、愛着を持って地域の人、もの、ことに関わり、進んで地域活動等に取り組む。

(3) 特別支援教育

個別指導計画と個別の教育支援計画を作成し、児童の特別な教育的ニーズに応えた指導を行う。校内委員会を定期的に開き、保護者や関係機関と連携し、全校体制で取り組む。

特別支援学級が新設されることから、交流学級との密接な連携を図る。

7 教職員の構成

○校長 1 ○教頭 1 ○教諭 4 ○養護教諭 1
○事務主事 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 14名

○地区協議会長、地区公民館長、区長
○民生委員・児童委員代表、学識経験者
○P T A、地域支援コーディネーター他

【C S からみる課題】

- 少子化、高齢化する地域を活性化する事業の取組
- 学校の課題と地域の課題を明確にしながら、実現可能な教育活動の展開

【日課表】

	月	火	水	木	金
8:05~ 8:15					朝 の 会
8:15~ 8:30					学力向上いといがわプラン
8:30~ 9:15			1		限
9:20~ 10:05			2		限
10:05~ 10:25					20 分休み
10:25~ 11:10			3		限
11:15~ 12:00			4		限
12:00~ 12:40					給 食
12:45~ 13:20					昼休み（月・水・金 13:20まで）
13:20~ 13:35					清 掃（月・水・金）
13:40~ 14:25			5		限
14:25~ 14:40					帰 り の 会
14:40~ 15:25				6	限

*登校完了 8時00分

*下校時刻 15時35分・40分

*通学方法 路線バス徳合方面4名、百川方面7名、
徒歩通学14名、校区外通学1名



教育目標 学び続ける子 互いに認め合う子 健やかに育つ子

求める磯部つ子の姿

- ふるさと磯部を愛する子ども
- 自ら学び、対話により、考えを広げ深める子ども
- 相手の気持ちを考え、正しく行動できる子ども
- 運動に親しみ、よりよい生活習慣を築く子ども

確かな学び

- 共に学び、対話により自分の考えを広げる授業の展開（国語科複式指導を中心）
- 『ふるさと磯部（人・もの・こと）』を中心としたキャリア教育の推進
- 望ましい家庭学習習慣の定着
- 『学力向上いといがわプラン』の推進と、家庭と連携した取組の充実

豊かな心・健やかな体

- 互いのよさを認め合い、適切な関わりを助長する活動の実施
- 気持ちのよいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉づかいの定着
- 家庭と連携して行うメディアとの適切な付き合い方の確立
- 様々な運動に取り組もうとする態度の育成

糸魚川市子ども一貫教育方針】ひとみかがやく日本一の子ども

【能生中学校区かがやきプロジェクト】自分の考えをもち、進んで伝え合い、高め合う子

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 生徒指導部 | ●安心して学べる学級・学校づくり |
| 学習指導部 | ●主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 |
| | ●基礎学力の定着と集中力の向上 |
| | ●確実な学習習慣づくり |
| 健康育成部 | ●自分らしい生き方を、ふるさと糸魚川から学び、実現させる力の育成 |
| | ●望ましい生活リズムの習慣づくり |
| | ●健康でたくましい体づくり |

いそべの未来を築く

地域に寄り添い・共にある学校

- 人権教育、同和教育を全教育活動の中核に据えた学校経営
- 個を伸ばす教育・個に応じた指導の充実
- 子どもの「思い」をもとにした授業づくり
- どの子ども「自分がいる大切さ」を感じられる学級・学校づくりの推進

情報共有

協力・協働

チームいそべの力を結集

各機関・団体と連携した取組の推進

- 「磯部のよさ」や「郷土への誇りや愛着」を高める教育活動の充実
- 学校と地域の風通しの良い関係づくり
- 「地域に開かれた教育課程」の創出
- 地域全体で取り組む人権教育、同和教育の推進

磯部地区協議会
磯部地区公民館

つながるPTA
保護者と教職員

地域との連携
学校運営協議会

磯6クラブ
各種対外団体等

漁業協同組合

民生委員・児童委員

防犯パトロールボランティア

NPO法人徳合ふるさとの会



糸魚川市立能生小学校

所在地 糸魚川市能生 4485 番地
校長 大瀬 孝志
教頭 山田 幸司
☎ 025(566)2026
fax025(566)3159

Email noushou@itoigawa.ed.jp

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M7 第5中学区公立第16番能生小学校創立
S22 能生町立能生小学校と改称
H13 PTAと「新潟緑の百年物語」植樹実施
H15 校舎耐震大改装を実施
H17 市町合併 糸魚川市立能生小学校と改称
H27・28 文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」委託研究を実施
R2 糸魚川市学力向上研修会 陰山メソッド全国大会を実施
R5 木浦小学校と統合
R6 創立150周年記念式典を実施

(2) 教育課題

- 相手意識と社会性の育成
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 生活習慣の改善と健やかな体づくり

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「よく学び 心豊かに たくましく」

(2) 重点目標

- 主体的に考え ともに学ぶ子

(3) 重点目標達成のための方策

- 自分も友達も大切にする子どもの育成に重点を置き、主体性を育てる教育活動を推進する。
- 自ら仲間ととことん学ぶ子どもの育成に向け、主体的、対話的で深い学びのある授業を実践する。
- 心身をきたえ自律的に生活する子どもの育成に向け、望ましい生活習慣生活を作る。

2025年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	12	15	7	17	14	17	7	82
女子	7	10	13	13	18	14	8	75
計	19	25	20	30	32	31	15	157

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、よさを認め合い高め合う場を設定（プラスのフィードバック）し、学び続ける力を育てる。

(2) 道徳科

相手の立場を考えて仲よく助け合い、温かい言葉で励まし合おうとする心と自らの判断で行動できる態度を育てる。

(3) 外国語活動・外国語科

対話を重視し、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

能生の人、もの、こととかかわり合い、問題解決過程で自己の生き方を考えていく資質・能力を育てる。

(5) 特別活動

人とかかわる中で、望ましい人間関係を築き、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

学校生活の中で、正しく判断し、主体的に行動するために、社会性と相手意識を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 児童の自発的かつ主体的な成長・発達の過程を支援していく働きかけを行う。
- 子ども同士が心の触れ合いを深め、共感的な人間関係を構築する集団作りを行う。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的に学び、考えを深める子どもの育成
～対話のある学びを目指して～」

(2) 研究の内容

- ①学力向上いといがわプランの実践
- ②日々の授業改善
- ③意図的・効果的なプラスのフィードバック
- ④モジュール学習と家庭学習の充実

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようとする。

＜主な地域素材＞

- ①3年生…白山神社、弁天岩
- ②4年生…能生川
- ③5年生…海洋高校、マリンドリーム能生
- ④6年生…地域の企業や起業家

(2) キャリア教育

人とかかわり合いながら活動し、自己のよさを生かして、進んで人の役に立とうとする子どもを育てる。自分にあつためあてをやり遂げる子どもを育てる。

- ①学校教育全体での取組
- ②フウセンカズラ高齢者見守り隊での交流活動
 - ・高齢者宅への訪問（中・高学年）
 - ・地域の方とのお楽しみ交流会（全校）
 - ・地域の方との意見交換会（代表児童）
- ③全校で継続的にかかわり合う縦割り班活動
 - ・わかフレ班遊びの日
 - ・わかフレ歩こう会

(3) 特別支援教育

- ①学校体制で取り組む特別支援教育の推進
 - ・校内委員会を中心としての情報共有と、校内支援体制の工夫・改善
 - ・「交流及び共同学習」の継続的な実施
- ②関係機関との連携による一貫した支援
 - ・S C、S S W、生活指導支援員、家庭児童相談員等と連携した支援の充実

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 13 ○養護助教諭 1
- 栄養教諭 1 ○主事 1 ○常勤講師 1
- 教育補助員 4 ○学校司書 1 ○管理員 1
- A L T 1

8 学校運営協議会委員等

【委員の構成】 14名

小泊地区長、能生地区町内会連合会長、西能生地区区長連絡協議会長、木浦地区連絡協議会長、糸魚川市人権擁護委員、能生保育園長、いづみ保育園長、木浦保育園長、P T A会長ほか

【その他支援団体等】

- 地域後援会 ○民生児童委員 ○学区町内会
- 能生地区まちづくり推進協議会

□□ 日課表 □□

		令和7年度校時表					糸魚川市立能生小学校						
項目	時間帯	週 時 程					月	火	水	木	金		
		8:15	児童登校										
職員出勤	8:00~8:10		朝の支度					学級朝会・健康観察					
児童登校	8:10~8:20		8:20~8:30										
朝の会													
朝学習 フッ化物洗口	8:30~8:45	<朝読書>		国語（3モジュールで45分）30								<朝読書> フッ化物洗口	
1限	8:45~9:30	1		6	12	18						24	
2限	9:35~10:20	2		7	13	19						25	
休憩	10:20~10:40												
3限	10:40~11:25	3		8	14	20						26	
4限	11:30~12:15	4		9	15	21						27	
給食	12:15~12:55												
休憩	12:55~13:40												
清掃	13:40~13:55	清掃					清掃					清掃	
5限	14:00~14:45	5		10	16							22	
終会・休憩	14:45~14:50		学級終会・休憩										
6限	14:50~15:35	会議・研修		11	17							23	
児童下校			5限下校日：14:55（木曜のみ14:35）6限下校日：15:40（木曜のみ15:20）										
課外			会議・研修		教材研究 事務処理		終会 子どもを語る会 16:00~16:30	教材研究 事務処理				教材研究 事務処理	
職員退勤							16:45						

*児童下校 14:35、14:55、15:20、15:40

*通学方法 徒歩 147名

路線バス（朝） 10名

スクールバス（帰り） 10名



糸魚川市子ども一貫教育方針
ひとみ輝く日本一のこども

教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

令和7年度 糸魚川市立能生小学校
グランドデザイン

特別支援教育の充実
通級指導教室との連携

重点目標 主体的に考え ともに学ぶ子

合い言葉 一人ひとりが輝く学校づくり

<校内研究テーマ>
主体的に学び、考えを深めていく
子どもの育成

○自分も 友だちも 大切にする子ども

- ◆相手を尊重する人権意識や規範意識の育成
 - ◆相手に伝わるあいさつができる子どもの育成
 - ◆主体性を育てる児童会活動（委員会・縦割り班活動）・学級活動の充実
 - ◆子どもが力を発揮する学校行事の充実（わかしお大運動会、わかしおフェスティバル、わかフレ歩こう会等）
 - ◆特別活動や道徳教育における自己肯定感を高める場の設定
- 

○自ら仲間と とことん 学ぶ子ども

- ◆「学力向上いといがわプラン」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
 - ◆よさを認め合い、高め合う場の設定（プラスのフィードバック）
 - ◆「課題」「まとめ」「振り返り」を大切にした学習の推進
 - ◆地域とかかわり、ふるさとへの愛着を高めるジオ学習の推進
 - ◆家庭と連携した学習習慣や読書習慣の定着
- 

○心身をきたえ 自律的に生活する子ども

- ◆運動の楽しさを実感できる体育授業の充実
 - ◆めあてを明確にした体力向上の取組
 - ◆より高度な動きや技へ意欲的に取り組ませる指導の工夫
 - ◆健康やメディアに関わる家庭のルールを守る自律的態度の育成
 - ◆望ましい生活習慣づくりに向けた「生活リズム改善週間」の実施
- 

人とかかわる力

自分を見つめる力

やりぬく力

将来を考える力

地域を大切にする力

家庭・保護者

保幼・小・中・高

関係諸機関

家庭・地域との連携

- ◆子どもも大人もあいさつを交わすまちづくり
- ◆フウセンカズラ高齢者見守り隊活動
- ◆いじめ見逃しゼロスクールの推進
- ◆早寝早起きおいしい朝ごはん・メディアコントロールの推進

支援ボランティア

民生委員・児童委員

学校運営協議会

地域後援会

町内会・地区公民館

糸魚川市立南能生小学校



所在地 糸魚川市溝尾 2991-4

校長 谷内 卓生

教頭 山崎 正義

☎ 025(568)2011

fax025(561)5015

Email minaminou@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1		1		1		1	4
男子	2	3	0	1	0	1	1	8
女子	2	0	2	1	1	2	1	9
計	4	3	2	2	1	3	2	17

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S37 川内小学校統合

S59 現校舎完成

S63 上能生小学校・高倉小学校統合

H17 糸魚川市立南能生小学校(改称)

H23 新潟県小学校教育研究会学習指導改善調査研究事業公開校実践事例報告会開催

R元 新潟県へき地複式教育研究会主催授業研究会開催

R5 南能生小学校創立150周年記念事業実施

(2) 教育課題

[まなび]

- 読む深め、思いや考えを表現する子
- 必要な情報を集め、生かそうとする子

[こころ]

- よいと思ったことを行動に移す子
- 相手を思いやってかかわる子

[からだ]

- 目標に向かって工夫して運動する子
- 望ましい生活づくりができる子

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

学び きたえ 励まし合う子

(2) 重点目標

主体的に考え、学び続ける子の育成

(3) 重点目標達成のための方策

[まなび]

- 多様な思いや考えを交流することができる課題や活動の工夫
- 身に付けた言葉や知識・技能を使って表現する場の確保
- 学んだことを伝えたり、話したりする機会の充実
- 地域人材・地域素材を生かした体験活動の推進

[こころ]

- 特別活動における主体性を育む活動の設定
- 自己の生き方を考え、主体的に判断できる道徳教育、人権教育の充実
- 学年・学級を超えて、異学年や他校の児童と協働する活動の設定
- 生活目標振り返りカードやQUアンケートを生かした学級づくり

[からだ]

- 目標を共有する場、課題を設定する場の設定
- タブレット端末を活用した授業の充実
- 生活を振り返り、目標を考えて実践する活動の設定
- 視力や睡眠など健康面に注意してメディアを活用することの啓発

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自分でじっくり考え、友達の意見や考えを聞き、自分の考えを高める授業づくりを行う。

少人数学習ならではのきめ細やかな授業による確かな学力を育成する。

(2) 特別な教科 道徳

多様な視点から話し合い、語り合うを通して、自己のよりよい生き方を考え続ける態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで対象にかかりわり、地域の自然や伝統、くらしや文化からよさを学び、地域を大切にしようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

児童の発達段階や個性に応じた活動を尊重しながら社会性を育てるとともに、自主的・自発的な態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自己有用感にあふれる集団づくりや互いに協力して集団生活を送ろうとする態度等の社会性の育成、基本的な生活習慣の定着を図る。

(2) 具体的な実践の方策

- 教育活動全般において、一人ひとりのよさや可能性を生かす支援を行うとともに、自己実現を図る指導と評価の工夫を推進する。
- 育てたい社会性の重点化を図り、家庭・地域と連携して発達段階に即した社会性の育成に努める。
- 特別活動では、互いの意見を尊重して問題を解決する意欲や態度の育成、児童が主体的に関わる行事の実現を図る。
- 道徳指導との連携を図り、体験的な活動を通して規範意識の醸成や道徳的価値の自覚を高める。
- 児童理解のための研修会や情報交換会を実施し、全職員の共通理解を深める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「読み取ったことを自分らしく生き生きと表現する子の育成」(仮)

(2) 研究の内容

「国語の物語の学習において、子どもたちが自分らしさを表現できる」ように下記の学習過程に重点をおいて実践を行う。

- ① 複数のメッセージが受け取られるような授業展開と教材研究を行う。
- ② 自分で読み進めるための道具(定義)と時間を与える。
- ③ 汎用性のある5つの読解活動を複数の作品で系統的に行う。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域の「人・もの・こと」とかかわり、地域のよさを発見し、地域を大切にしようとする活動を推進する。

(2) キャリア教育

自分らしい生き方をふるさと上南から学び、夢や希望をもって取り組む教育活動を推進する。

(3) 特別支援教育

だれもが安心して学べる環境の整備と分かりやすい授業を推進する。

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭4 ○養護教諭1
- 主事1 ○管理員1

8 学校運営協議会

【委員の構成】13名

○区長会長、学職経験者、民生委員、学校後援会長、各地区考える会代表、地域学校協働活動推進委員、実業家、PTA会長・副会長 他

【C Sの課題と取組】

- 地域の様々な機関や団体とのネットワーク
- 「地域に学び 地域と歩む」連携の在り方

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:00					職員出勤・児童登校
8:10~8:15					朝の会(月曜日はフッ化物洗口)
8:15~8:35	朝読書				ぐんぐんタイム
8:40~9:20					1校時
9:25~10:05					2校時
10:05~10:35					おおぞらタイム
10:35~11:15					3校時
11:20~12:00					4校時
12:05~12:35					給食
12:35~13:20					フレンドリータイム
13:20~13:35	清掃		清掃		清掃
13:40~14:20					5校時
14:25~15:05					6校時
15:05~15:15					下校準備
15:15~					児童下校

*児童生徒下校 15時15分

*通学方法 スクールバス 登校 3名 下校 3名

路線バス 3名

徒歩 登校1名 下校1名

令和7年度 糸魚川市立南能生小学校 学校経営グランドデザイン

教育目標 学び きたえ 励まし合う子

重点目標 主体的に考え、学び続ける子の育成

学

心

体

●読み深め、思いや考えを表現する子

- ・多様な思いや考えを交流することができる課題や活動の工夫
- ・身に付けた言葉や知識・技能を使って表現する場の確保

●必要な情報を集め、生かそうとする子

- ・学んだことを伝えたり、話したりする機会の充実
- ・地域人材・地域素材を生かした体験活動の推進

●よいと思ったことを行動に移す子

- ・特別活動における主体性を育む活動の設定
- ・自己の生き方を考え、主体的に判断できる道徳教育、人権教育の充実

●相手を思いやってかかわる子

- ・学年・学級を超えて、異学年や他校の児童と協働する活動の設定
- ・生活目標振り返りカードやQUアンケートを生かした学級づくり

●目標に向かって工夫して運動する子

- ・学習カードやタブレット端末を活用した振り返り活動の充実
- ・振り返りに基づいた目標設定・課題設定の場の確保と工夫

●望ましい生活づくりができる子

- ・生活を振り返り、健康な体づくりを実践する活動の設定
- ・栄養のバランスのとれた食事を考える活動の充実

<家庭や地域と共に>

- 落ち着いて学習できる環境づくり
- 地域行事等への積極的な参加

<家庭や地域と共に>

- 手伝いなど子どもの役割の設定
- 地域全体でのあいさつ・見守り

<家庭や地域と共に>

- メディアとの関わり・食事・睡眠等の望ましい生活習慣の形成

保護者や地域のみなさんと「地域と共に歩む学校」をつくります

- 家庭との連携
- 上南地区公民館との連携
- 糸魚川市教育機関との連携

- 学校運営協議会との連携
- 能生中学校区との連携

特別支援教育の推進

- ・だれもが安心して学べる環境整備とわかりやすい授業の実施

キャリア教育の推進

- ・自分らしい生き方をふるさと上南から学ぶ教育活動の実施

ジオパーク学習の推進

- ・地域のよさを学び、地域を大切にしようとする活動の実施

20年後も自分らしさを大切に、仲間と力強く生きていく子どもたちを育てます





糸魚川市立中能生小学校

所在地 糸魚川市大字平 404

校長 渡邊 順司

教頭 高瀬 育子

☎ 025(566)2702

Fax 025(566)2099

E-mail nakanou@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 支	合 計
学級	1	1	1		1		1	5
男子	2	5	1	5	2	5	1	20
女子	2	2	2	3	2	7	1	18
計	4	7	3	8	4	12	2	38

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S 37 旧中能生小、旧西能生小、旧柱道小の3校が統合し、能生第二小学校として設立
- S 38 校名改称、中能生小学校となる
- S 63 新校舎竣工、記念式典挙行
- H 3 統合 30周年記念式典・祝賀会
- H 19 体育館改築工事完了
- H 29 プール内壁塗替工事完了
- R 3 無線LAN整備 全児童へiPad配付

(2) 教育課題

- 学力の向上を図ること
- 相手を思いやり、自ら考えて行動する態度を育てること
- 健康や安全への意識の向上を図り、実践力を育てること

2 本年度の教育課程

- (1) 教育目標 学びあい 助けあい 鍛えあい
- (2) 重点目標

- 進んで、分かりやすく表現する子
- 相手を思いやり、進んで考動する子
- めあてを決め、進んで健康な生活をする子

(3) 重点目標達成のための方策

- 学力の向上と問題解決能力の育成に努める。
- 望ましい人間関係づくりに努める。
- ジオパーク学習を推進する。
- 一人ひとりの職員の指導力と組織力の向上に努める。
- 保育園・中学校、家庭、地域、諸機関との連携を強化する。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

自分の考えをもたせ、小集団による練り上げができる授業を開発し、思考力の向上を図る。

(2) 道徳の時間

ねらいとする道徳的価値を自分の課題と受け止め、よりよく生きようとする意欲を育む。

(3) 外国語活動

言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の自然や伝統、文化などと関わりながら、探求的な学習を通して生きる力を育む。

(5) 特別活動

異学年や様々な人との交流の機会を設定し、主体的に活動していこうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

相手の気持ちを思いやり、進んで考え方行動する子どもを育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 一人ひとりと関わり、安心して過ごせる学級・学校づくりをする。
- 明るい挨拶が、いつでもどこでも誰にでもできるように指導する。
- 縦割り班活動等で自主的に子ども同士が関わる活動を充実させる。
- いじめ防止基本方針に基づき、問題行動等の未然防止と早期発見、即時対応に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的に学び合い、
考えを深め合う子どもの育成」
～言語活動の充実を通して～

(2) 研究の内容

以下の3つの場面を授業や活動に位置付け、
思考力・判断力・表現力を育て、言語活動の充実
を図る。

- ① 自分の考えをもつ場面
- ② 自分の考えを表出して他者の考えと交流さ
せる場面
- ③ 他者の考えと交流しながら自分の考えを再
考する場面

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域
講師を活用し、児童が郷土への誇りと愛着をも
つことができるようとする。

- ① 3・4年生…中能生地区の自然の魅力発見
- ② 5・6年生…地域の産業、キャリア教育

(2) キャリア教育

自分の意思で行動し、思考力や表現力を高め、
自分の夢や希望をもつ。(キャリアパスポートの
活用)

- ①低学年…自分物語、町・地域探検
- ②中学年…活動リーフレット、郷土に伝わる願い
- ③高学年…将来の自分を考え、夢を綴る

(3) 特別支援教育

生活力を身に付け、たくましく生きる子ども
を育てる。

- ①支援を必要とする児童の全職員での情報共有
- ②温かい人間関係の醸成
- ③環境のユニバーサルデザイン化

(4) 学力向上いといがわプランの実施の概要

(時間、内容)

- ・毎週水～金の 8:15～8:30
 - 8:15～8:18 音読
 - 8:18～8:30 百マス計算・読書
- ・漢字前倒し学習は、国語の授業時間や宿題
で実施

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 5 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○非常勤講師 1
- 教育補助員 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 12名

- 地区公民館長 ○保育園長 ○PTA会長
- 区長会長 ○後援会長 ○主任児童委員
- 各地区選出の地域住民

【CSとしての課題(熟議の課題と取組】

- 生活科・総合的な時間の内容・講師について
- 各種行事における地域と学校の連携について

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15~ 8:30	朝読書	朝清掃	朝学習	朝学習	朝学習
8:30~ 8:40	朝の会				
8:40~ 9:25	1時間目				
9:25~ 10:15	2時間目				
10:15~ 10:35	移動時間・学習準備				
10:35~ 11:20	3時間目				
11:25~ 12:10	4時間目				
12:10~ 12:55	給食				
12:55~ 13:40	昼休み				
13:40~	5時間目	つくし	5時間目	つくし	清掃
14:00~ 14:45	13:40~ 6時間目	5時間目	13:40~ 6時間目	5時間目	5時間目
15:00~ 15:45	14:30~ 6時間目		14:30~ (委員会)6時間目		
~16:45	下校	課外活動	下校	下校	課外活動

*児童生徒下校 15時 15時50分

*通学方法 徒歩38名

令和7年度 中能生小学校グランドデザイン
子ども活き活き、輝く大人！

学校運営協議会の合言葉
「魅力ある地域で、魅力ある子どもを育てる！」

**夢やあこがれを
もつ子
ふるさと中能生が大好き
自然が大好き、人が大好き**

**元気いっぱい
かかわりいっぱい**
 粘り強く挑戦し続ける
 お互いの違いを認められる
 地域の人、園児と顔なじみ

高校生 **中学生** **小学生** **幼稚園** **あかちゃん**

魅力の創造発信

魅力ある中能生地域
**豊かな自然と
息づく伝統
つながる思い**

安全で安心できる地域

**地域で子どもを守る
自助・共助・公助・防犯・防災・減災**

**大人も子どもも
声をかけ合う地域**

糸魚川市立中能生小学校の教育

教育目標

【学びあい】 【助けあい】 【鍛えあい】

<p>【確かな学力】 進んで 分かりやすく 表現する子</p> <p>○個に応じた指導を行い、基礎・基本の定着を図ります。 ○読書活動を充実させます。 ○ICTを活用しながら言語活動を工夫し、考えを伝え合ったり深めたりできるようになります。 ○家庭学習に主体的に取り組めるように、計画作りと日々の見取りを行います。</p>	<p>【豊かな心】 相手を思いやり 進んで“考動”する子</p> <p>○一人ひとりと関わり、安心して過ごせる学級・学校を目指します。 ○明るい挨拶が、いつでもどこでも誰にでもできるよう指導します。 ○縦割り班活動等で児童が主体的に関わり合ったり、協力し合ったりする活動を充実させます。</p>	<p>【健やかな体】 めあてを決め 進んで健康新生活をする子</p> <p>○楽しく運動できる機会を設定したり、環境を整備したりして、運動意欲を向上させます。 ○個々の運動面のよさや課題を丁寧に見取り、個に応じた指導や支援を行います。 ○生活習慣の改善に向け、家庭や関係機関と連携して取組を推進します。</p>
<p>学校がすること</p> <p>□『デジタルメディア中能生小PTAと子どもの共同宣言』をもとに家庭のルールを作り、徹底させます。</p> <p>□家庭学習ができる環境（時間、場所等）を整えます。 □子どもの家庭学習の様子を確認したり、励ましの声をかけたりします.</p>	<p>家庭がすること</p> <p>□挨拶や日頃の会話を増やす等、意識して子どもと関わり、認め励まします。 □家族の一員として子どもが毎日行う「役割」を決め、進んで取り組むよう接します。</p>	<p>目指す成果</p> <p>*「学校に行くことを楽しみにしている」 →児童と保護者が100% *「自分から挨拶や返事をしている」 →児童と保護者が85%以上 *「自分の体を知り、めあてをもって取り組んでいる」 →児童と保護者が85%以上 *「他の人の意見を尊重している」 →児童と保護者が85%以上</p>
<p>【一人ひとりの違いを認め合い、自分も相手も大切にし、相手の立場を考えて関わることができる子ども】</p> <p>将来、自立した一人の大人となるための基盤を養います。学校では、日常的な教育の機会のほか、人権教育強調週間や人権教育、同和教育の学習参観の機会を設定するなどして、人権尊重の精神と差別を許さない実践的な態度を養います。</p> <p>【つくしつ子の合言葉】</p> <p>わたしも大事 あなたも大事 笑顔あふれる 中能生小学校</p>		



糸魚川市立下早川小学校

所在地 糸魚川市日光寺322番地
 校長 澤田 隆
 教頭 根津 恭子
 ☎ 025(555)2107
 fax 025(555)4516
 Email tukimizu@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	2		7
男子	4	3	5	1	8	6	4	31
女子	1	6	6	3	7	5	2	30
計	5	9	11	4	15	11	6	61

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治 7年 第六大学区第五中学区七区日光寺校として創立 (11月)
 大正 14年 校歌制定 (中山晋平作曲 相馬御風作詞)、学校旗開始
 昭和 29年 糸魚川市立下早川小学校と改称
 昭和 39年 県愛鳥モデル校指定
 昭和 54年 つつじが丘緑の少年団結成
 平成 17年 中早川小学校と統合
 平成 28年 上早川小学校と統合

(2) 教育課題

豊かな自然環境と温かい地域の支援に支えられ、小規模校ならではのきめ細かな教育を行っている。

互いに認め合いながら自他を尊重し、高め合う関係を構築する児童の育成に取り組んでいる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 「一歩前へ」

(2) 重点目標

知 : 進んで学び 高め合う子

徳 : 自分をみつめ 友達とよりよくかかわろうとする子

体 : 体力づくりに 進んで挑戦する子

(3) 重点目標達成のための方策

知 : 進んで学び 高め合う子

□「伝える力」・「読み取る力」の育成

○自分の考えをしっかりと伝える授業の展開

○読書活動を重視し、「読み取る力」「多様な言葉を知り、活用する力」を育む

○課題、まとめ、振り返りを重視した授業の工夫

○I C Tを効果的に活用した授業づくり

□基礎・基本の定着

○ワークテストによる学力の定着確認と補充学習

○自主学習や読書等、家庭学習の習慣化

□早川に愛着と誇りをもつ子の育成

○地域の特色と人材を生かした学習

○自然に対する感性や言語感覚を磨く俳句学習

徳 : 自分をみつめ 友達とよりよくかかわろうとする子

□自分も友達も大切にし、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成

○よりよいかかわり方を育成するための重点指導

○全教育活動を通して育む、自己有用感

○一人ひとりが居心地の良い学級作り

○自己を見つめ、生き方についての考えを深める道徳の授業展開

□子どもたちがつくりあげる児童会

○子ども主体で活動できる児童会・学級会

体 : 体力づくりに 進んで挑戦する子

□めあてをしっかりともち、体づくりに励む態度の育成

○運動を好きになる体育授業や遊びの工夫

□早寝・早起き、メディアコントロール等の望ましい生活習慣の育成

○望ましい生活を目指した強調週間の実施

○良い座姿勢を意識し、保とうとする日常生活

□自然災害の特徴を知り、自分の身を守るために知識と行動力の育成

○計画に基づいた自然災害学習

○災害時の実践力を高める避難訓練

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

各教科の基礎的な知識・技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

また、ねらいを明確にして授業を構築し、評価することで、指導と評価の一体化を図る。

(2) 道徳の時間

友達を尊重し、共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを取ろうとする意欲と態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人・もの・こととのかかわりを通して課題を見つけ、仲間と協力しながら主体的・創造的に課題を解決しようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して人間関係をよりよく形成し、自己実現をはかるとする子の育成

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自分も友だちも大切にし、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- アンケートや相談員等との連携などにより、児童理解や問題行動の未然防止に努める。
- 「よい子のやくそく」等を繰り返し指導し、保護者や地域と連携してきまりの徹底を図る。
- 進んで相手に伝わるあいさつができることを目標にあいさつ運動を推進する。
- 全校 SST などの実施により、受容的・肯定的な人間関係を育て、自己肯定感を高める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「思いを伝えたくなる授業の工夫」

(2) 研究の内容

日常的に対話スキルを意識させたことで、対話が深まる傾向が見られた。一方、日頃から自分の気持ちを表情や態度から察してもらおうとする児童が多く、言語化が難しい実態がある。今年度は、伝えたくなる課題設定やしきけを工夫することで、自分の言葉で思いを伝える経験を積ませ、相手に伝わるような話し方を考える力を育てたい。自分の言葉で思いを伝えようとする児童の姿を目指す。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域素材や講師を活用した学習をし、児童が早川地域への誇りと愛着をもてるようにする。

(2) キャリア教育

ものづくりや施設訪問などの体験活動を通して、望ましい職業観を育てるとともに、多様で幅広い他者との人間関係の構築を図る。

(3) 特別支援教育

全職員での情報共有を行うとともに、カウンセラーや関係機関との連携を密にする。また、UD化の視点での指導方法の工夫・改善を行う。

(4) その他

①俳句学習

全校で俳句学習に取り組み、豊かな感性を養うとともに、言語感覚を磨く。

②緑の少年団

緑化活動や愛鳥運動などを通して、豊かな心と体を養う。

③クロスカントリースキー

強い精神力と体力の向上を図るとともに、雪に親しむことを通して、ふるさとへの愛着をもたせる。

7 教職員の構成

○校長1	○教頭1	○教諭8	○養護教諭1
○主任・事務員1		○補助員3	○管理員1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

○PTA、学校後援会、公民館、自治振興会、民生委員、学区保育園、主任児童委員

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

○ふるさと早川に愛着をもち、目標に向かってがんばる子の育成

○学校の教育活動への地域人材の活用

□□ 日課表 □□

時刻	月	火	水	木	金
8:05	職員出勤				
8:15	朝会			学級朝会(10分間)	(フ化物洗口)
8:30	朝学習	読書タイム	おしゃべりタイム	漢字タイム	iPadタイム
9:15	1限	<1> 8:30~9:15	<6>	<11>	<16>
9:20				5分休み・移動	
10:05	2限	<2> 9:20~10:05	<7>	<12>	<17>
10:25				20分休み・移動	
11:10	3限	<3> 10:25~11:10	<8>	<13>	<18>
11:15				5分休み・移動	
12:00	4限	<4> 11:15~12:00	<9>	<14>	<19>
12:40	給食			給食 12:00~12:40 (12:35:立ちそさま、その後3分間面崩き)	
13:25	昼休み			昼休み	
13:40	清掃	清掃	<10> 13:25~14:10	清掃・各種集会	<20>
13:45	移動 5分			移動 5分	移動 5分
14:10	5限	<5> 13:45~14:30	学級終会(10分間)	<15>	
14:20				移動5分	学級終会(10分間)
14:30	終会	学級終会(10分間)	3~6年	13:45~14:30	<25> 13:45~14:30
14:40		<29>	委員会 (5~6年) クラブ (4~8年)	14:20~15:05	学級終会(10分間)
15:00	6限	14:20~ 15:05	14:25~ 15:25	<26> 3~6年	<27> 2~6年
15:05				14:40~15:25	<28> 3~6年
15:25	職員会議 職員研修	15:00~16:00			14:40~15:25
16:00					職員会議15:30
16:35	職員退勤				

*通学方法 路線バス 19名 (7月～9月、11月～3月 32名) 徒歩 41名 (7月～9月、11月～3月 28名) その他 1名



糸魚川市立 下早川小学校 令和7年度 グランドデザイン



地域とともに

進んで学び 高め合う子

- 「伝える力」・「読み取る力」の育成
- 基礎・基本の定着
- 早川に愛着と誇りをもつ子の育成

教育目標

一歩前へ



体力づくりに
進んで挑戦する子

- めあてをしっかりもち、体づくりに励む態度の育成
- 早寝・早起き、メディアコントロール等の望ましい生活習慣の育成
- 自然災害の特徴を知り、自分の身を守るために知識と行動力の育成

自分をみつめ 友達と
よりよくかかわろうとする子

- 自分も友達も大切にした言動ができる豊かな心の育成
- 子どもたちがつくりあげる児童会

学校と地域とで目指す子ども像

ふるさと早川に愛着をもち、目標に向かってがんばる子



学校運営協議会

後援会

公民館

自治会

保護者

防犯パトロール員

学習ボランティア

はぐくむ会

中学校区連携部会



徳

- よりよいかかわり方を育成するための重点指導
 - ・全校ソーシャルスキルトレーニング(SST)
 - ・人権強調月間
 - ・下小こころの木
- 子どもも主体で活動できる児童会・学級会
- 全教育活動を通して育てる自己有用感
- 一人ひとりが居心地の良い学級づくり
 - ・学校生活アンケート
- 自己を見つめ、生き方についての考えを深める道徳教育

知

- 自分の考えをしっかり伝える授業展開
- 「読み取る力」「多様な言葉を知り、活用する力」を育む読書教育の推進
- 課題からまとめ・振り返りまで見通しのもてる授業
- ICTを効果的に活用した授業づくり
- 地域の特色と人材を生かした学習
- 自然に対する感性や言語感覚を磨く俳句学習

体

- 運動を好きになる体育授業や遊びの工夫
- 望ましい生活を目指した強調週間
 - ・6月：歯と口の健康旬間
 - ・9、10月：生活リズム改善事業
 - ・1、2月：かぜ予防週間
- 児童が主体となって取り組む、メディアコントロールの実践活動
- 良い座姿勢を意識し、保とうとする日常生活。
 - ・Gボールの活用
- 計画に基づいた自然災害学習
- 災害時の実践力を高める避難訓練



- 自主学習や読書等、家庭学習習慣化
- 災害に備えるための家族での対話
- 望ましい生活習慣への改善
- メディアルールの振り返りと見直し



- 地域の方への元気なあいさつ
- 地域行事への子どもたちの参加
- 地域の方から学ぶ「ふるさと早川」



Plan
計画

職員会議・学校運営協議会

PTA総会・教職員自己申告シート

Do
実行

Check
評価

Action
改善

学校評価アンケート・学校運営協議会
教職員自己申告シート・授業研究

糸魚川市立大和川小学校



所在地 糸魚川市田伏 87
校長 富永 範子
教頭 近藤 克彦
☎ 025(552)3115
fax025(552)5509

2025年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1	2	3	4	5	6	特	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	13	11	5	15	18	14	16	77
女子	10	8	9	11	14	12	2	64
合計	23	19	14	26	32	26	19	140

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治7年 大和川小学校開校
昭和61年 校舎完工式、記念祝賀会
令和6年 創立150周年

(2) 教育課題

- 主体性を育み、集団で向上する児童の育成
- 思いやりのある言動ができる児童の育成
- 健康習慣の育成
- 互いのよさを認め合う気持ちの醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 よく学び 心やさしく 元気な子

(2) 重点目標

あたりまえのことがあたりまえにできる子どもを育てる

(3) 重点目標達成のための具体的方策

- ① 授業で学級づくり
 - ・一人ひとりの子どものよさを引き出し、相互に認め合える人間関係、支え合う関係を育む授業づくり
- ② 地域に学ぶ・地域とともに歩む活動
 - ・ふるさと糸魚川のよさを知り、発展を願う子どもを育成するための、「地域に学び、地域に働きかける活動」の実践
 - ・地域、保護者との確かな連携
- ③ 基礎学力と集中力の向上
 - ・「学力向上いといがわプラン」の着実な実践
 - ・集中する力を育て、子どもたちのもつている力を最大限伸ばす教育の推進

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

自分の思いを伝え、相手の思いを共感的に受け止める力の育成

(2) 道徳の時間

自己を見つめ、振り返り、自らの生き方を考える道徳教育の実践

(3) 外国語活動

自國や他國の文化のよさが分かり、進んでコミュニケーションをとろうとする児童の育成

(4) 総合的な学習の時間

地域の「人・もの・こと」から学び、ふるさと糸魚川への愛着を高めるジオ学習の推進

(5) 特別活動

学校をよりよくしようとする主体性の助長

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点（抜粋）

- ①時や場を考えた行動の意味を学び、善悪を判断して行動できるようにする。
- ②教師と子どもも、子ども同士の信頼関係づくりを行う中で、いじめや不登校、問題行動の未然防止に努める。

(2) 具体的な実践の方策

- 生活目標の取組により生活習慣の定着を図る。
- 相手の気持ちを考えて行動する態度を育てる。
- 家庭や地域と連携し、挨拶運動を推進する。
- 問題行動の未然防止、早期発見・解決を図る。
- 異学年交流を推進し自己有用感の向上を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

共感的な人間関係を築く力をもつ子の育成
～感情の言語化をめざして～

(2) 研究の内容

- ①生徒指導の機能を生かした授業改善と共感的な人間関係づくり
- ②エピソードの集積による評価、分析、改善
- ③中学校区の連携組織を活用した愛着の連續性の強化

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習（ふるさと学習）

地域に根ざして学ぶ、ジオパーク学習（ふるさと学習）で地域の「人・もの・こと」と繰り返し関わる体験を通して心を耕し、ふるさとへの愛着を高める。

(2) キャリア教育

様々な人の関わりや体験活動を通して、自分のあり方や生き方を見つめ、共によりよく生きていこうと努力する子どもを育てる。

- ①低学年…生活科での野菜づくりや飼育活動等をとおして、自分の役割が分かり、実践しようとする態度を養う。
- ②中学年…社会科での町探検や総合的な学習の時間での地域の人々との関わりをとおして、働くことの楽しさがわかり、自分の仕事を主体的に行う態度を養う。
- ③高学年…地域の働く大人や専門家から学ぶ機会を設定し、働くことの大切さや意義について深く考える。また、将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする態度を養う。

(3) 特別支援教育

- ①誰でも居心地のよい学級となるようにする。
- ②どの子にも分かる授業を実践する。
- ③自分を知って自分を好きになるようにする。
- ④教育相談の充実を図る。

(4) 学力向上いといがわプラン

- ①「5つのポイント」に基づく授業改善
「課題・まとめ・振り返り」のある授業

②基礎学力の定着と考える力の育成

- ・思いを伝え合い、よりよい考えを導き出すための対話的な学び
- ・家庭学習の定着

(5) その他

児童や保護者に向けて情報リテラシー教育を推進したり、講演会等を実施したりする。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 15 ○講師 2
- 養護助教諭 1 ○事務主事 1
- 教育補助員 4 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 14名

- 町内会長、教職経験者、P T A、おやじ俱楽部等
- 【C Sとしての課題（熟議の課題と取組）】
- C S人づくり目標に基づく協働した連携活動

日課表

	月	火	水	木	金
8:00	職員勤務開始				
8:00~ 8:10	児童登校				
8:20~ 8:30	10分清掃	10分清掃	朝読書 <small>（全校制 の会）※</small>	10分清掃	10分清掃
8:35~ 8:45	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
8:45~ 9:30	1限	1限	1限	1限	1限
9:35~10:20	2限	2限	2限	2限	2限
10:20~10:40	業間休み				
10:40~11:25	3限	3限	3限	3限	3限
11:30~12:15	4限	4限	4限	4限	4限
12:15~12:45	給食・昼休み				
12:45~13:30	給食・昼休み				
13:30~14:15	5限	5限	5限	5限	5限
14:15~14:25	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
下校・バス① 14:30	1~6年生	1年生 <small>（銀色の時は4年生）</small>	1~3年生 <small>（銀色の時は4年生）</small>	1~2年生	1~3年生
14:25~15:10	職員会議 職員研修 職員終礼 <small>（14:40~16:00）</small>	6限 <small>銀色（14:35~15:15） 緑色（15:15~15:15）</small>	6限	6限	6限
下校・バス② 15:15	2~6年生 <small>（委員会の時は5~6年生のみ）</small>	4~6年生 <small>（委員会の時は5~6年生のみ）</small>	3~6年生	4~6年生	
16:30	教材研究	学年部会 研究推進 <small>（銀色研修） （15:30~16:20）</small>	遇案作成 教材研究	来週の準備 ノー残業データ	職員退勤

* 児童下校 月：14:30 火～金：15:20

* 通学方法 スクールバス 11名 徒歩 129名

糸魚川市子ども一貫教育方針
ひとみ輝く日本一のこども

大和川小学校区学校運営協議会人育て目標
大好き！ひと もの 心♥ 未来を拓くオシリーワン



令和7年度 糸魚川市立
大和川小学校グランドデザイン

教育目標

よく学び 心やさしく 元気な子

重点目標

あたりまえのことがあたりまえにできる子ども

- ◆だれにでも、どこでも、心を込めて挨拶ができる子ども
- ◆仲間と共に学習ができる子ども
- ◆踏ん張れる、我慢ができる、挑戦できる子ども
- ◆仲間を思いやられる子ども

校内研究テーマ

共感的な人間関係を築く力の育成

よく学び



- ◆自分の思いを伝え、相手の思いを共感的に受け止める力の育成
- ◆「授業改善5つのポイント」に基づく「課題・まとめ・振り返り」のある授業の実践
- ◆基礎学力の定着と考える力の育成
- ◆地域の「人・もの・こと」から学び、ふるさと糸魚川への愛着を高めるジオ学習の推進
- ◆「15の春」につながる家庭学習習慣の定着

心やさしく



- ◆相手を尊重する人権意識の醸成（いじめの予防・早期発見・迅速な組織対応を可能にする職員間の確実な情報共有と連携）
- ◆心をこめたあいさつの習慣化
- ◆自己を見つめ、振り返り、自らの生き方を考える道徳授業の実践
- ◆学校をよりよくしようとする主体性の助長（特別活動の充実）
- ◆安心・安全な生活を送るための「大和川小っ子のきまり」の順守と規範意識の向上

元気な子



- ◆体を動かす心地よさを体感できる取組や体育授業の工夫
- ◆体力テスト結果を基にした授業改善
- ◆自分に合わせた目標を立て、その達成に向けて努力する力の育成

- ◆メディアやSNSの使い方を自分でコントロールできる自己管理力の育成
- ◆規則正しい生活習慣の形成（早寝・早起き・おいしい朝ごはん）

※ オレンジ色の枠内は、主に家庭の協力のもとで育む内容を記載しております。

家庭・保護者

保・小・中・高

関係諸機関

学校・家庭・地域との連携

後援会・公民館

児童委員・民生委員

支援ボランティア

- ◆家庭のメディアルールの設定と徹底
- ◆早寝早起きおいしい朝ごはんの継続
- ◆教育活動へのボランティア支援

- ◆子どもも大人もあいさつを交わす地域づくり
- ◆登下校の見守りを含む子どもの安全確保
- ◆地域での居場所や遊び場の確保

学校運営協議会(コミュニティースクール)



校章

糸魚川市立西海小学校

所在地 糸魚川市大字羽生 1937

校長 相馬 修

教頭 小坂 良範

☎ 025(552)3811

fax 025(552)0763

Email umikawa@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	2	7	
男子	3	3	0	4	6	3	1	19
女子	3	4	4	4	9	2	2	26
計	6	7	4	8	15	5	3	45

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- H17 西海小学校発足（北西海小学校と南西海小学校が統合）
- H26 創立 10 周年記念式典挙行
- H27 交通安全ヘリコプター訪問
- R 1 創立 15 周年記念行事実施
- R 6 創立 20 周年記念行事実施

(2) 教育課題

- 豊かな心の育成
 - ・良好な人間関係づくり・人権感覚の育成
- 確かな学力の育成
 - ・主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善と家庭学習習慣の確立
- 健やかな体の育成
 - ・望ましい生活習慣の定着と体力の向上
- PTA、後援会、公民館等と連携・協働した教育活動や生活指導の充実
- 糸魚川市子ども一貫教育の推進
 - ・「自立する 18 歳」の基礎を培う教育活動
 - ・保育園や中学校との接続を意識した教育活動

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

うるわしき心 よく学び 元気な体 清き夢

(2) 重点目標

元気はつらつ西海の子

(3) 重点目標達成のための方策

- 信頼関係に支えられた学習指導、生徒指導
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 基礎基本の定着と活用を意識した授業実践
- 複式学級における経営と学習指導の充実
- 特別支援教育の充実とUD化の推進
- 子どもの権利条約と同和教育の授業実践
- 家庭や地域、保・小・中の連携

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学び、基礎基本の定着と活用を意識した授業実践により資質・能力を育成する。

(2) 特別の教科 道徳

主体的な判断に基づいて道徳的実践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きる児童を育てる。

(3) 外国語・外国語活動

外国語学習を通じて、言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、コミュニケーションを図るために素地を身に付けた児童を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域から学習課題を見付け、解決に向けた探求的な活動を通して、地域や人に進んで関わる児童を育てる。

(5) 特別活動

互いに助け合い、認め合う人間関係を築こうとする態度やよりよい学校生活にしようとする自治の力を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

コミュニケーション能力と規範意識の向上により社会性を育成し、互いの良さを認め合い、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策

- いじめ防止基本方針や「いじめ防止学習プログラム」に基づく、より良い人間関係構築や児童の自己有用感や規範意識を育み、粘り強く取り組む態度を育てる指導の充実を図る。
- 生活目標「よりよいあいさつと返事をしよう」の達成に向け、年間を通じて取り組む。
- 市共通項目アンケートや学校生活アンケート、Q-U 検査等、子どもを語る会を通じて児童理解

を深める。

- PDCAで「魅力ある学校づくり」を推進する。
- 保育園と中学校との連携を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的に学び、深め合う授業づくり」
～温かな人間関係に支えられた、対話のある学習集団を目指して～

(2) 研究の内容

- ①温かな人間関係に支えられた授業実践
 - ・学習規律を守り、安心して学習に臨める環境を整え、学級風土を醸成する。
 - ・教材研究等により、日頃の「分からぬことが分かるようになった」、「できなかつたことができるようになった」を積み重ねる。
- ②各学年における授業の実践
 - ・研究教科は国、算、理、社のいずれかとする。
 - ・考えの根拠や理由を相手に説明したり、学んだことを活用したりして、自分の考え方や理解をさらに深めるための支援の在り方を研究する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間や各教科で、地域素材や地域の講師との関わりを通して、児童にふるさとのよさや特性を感じとらせ、課題解決能力の育成を図る。

- ①3年生・・西海の名所の調査、紹介
- ②4年生・・海川の調査、環境を守る活動
- ③5年生・・米作り、米を生かした活動
- ④6年生・・職場見学(体験)、修学旅行(西海・糸魚川と他地域との比較等)

(2) キャリア教育

各教科の学習や行事、当番活動、係活動、委員会活動等の教育活動全体を通じて、郷土愛と基礎的・汎用的能力の育成を図る。

*全学年で「キャリアパスポート」を実施する。

(3) 特別支援教育

- ①特別な支援を要する児童の情報共有を全職員で定期的に行い、特別支援教育コーディネーターを中心に、全校体制で支援する。
- ②就学支援委員会と連携し、実態把握と効果的な支援を工夫し、家庭と連携して実施する。

(4) 学力向上といがわプランの実施

- ①教科横断的な教育課程の実施による学習の基

盤作り

②家庭学習の日常化、生活習慣化

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 7 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○教育補助員 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 14名

○自治振興協議会長、後援会長、公民館長、保育園長、社会福祉協議会西海支部長、青少年健全育成協議会長、防犯パトロール員、民生委員・児童委員、人権擁護委員、地域学校協働活動推進員、集落支援員、PTA会長、PTA副会長、校長、教頭

【CSとしての課題】

- 大人と子どもが素敵な挨拶を交わすまちづくり
- 大人同士が関わり合える活気あるふるさとづくり
- 学校と地域が連携して夢を語り合う西海

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
朝の会					
朝活動	学級タイム 8:25~8:40	学習タイム 8:25~8:40	朝清書・読み聞かせ (フッ化物洗口)	学習タイム 8:25~8:40	学習タイム 8:25~8:40
1			1時間目(8:40~9:25) 		
2			2時間目(9:30~10:15) 		
			20分休み(10:15~10:35)		
3		3時間目(10:35~11:20) 			
4		4時間目(11:25~12:10) 			
給食(12:10~12:55)					
昼	昼休み(12:55~13:35)			ロング昼休み (12:55~13:55) ☆会議活動 (13:35~13:50)	昼休み (12:55~13:35) 清掃 (13:35~13:50)
5	5時間目 (13:35~14:20) 帰りの会 (14:20~14:30)	5時間目 (13:55~14:40)	5時間目 (13:35~14:20) 帰りの会 (14:20~14:30)		5時間目 (13:55~14:40) 帰りの会 (14:40~14:50)
6	6時間目 (14:50~15:35)	6時間目 (14:50~15:35)	6時間目 (14:30~15:15) ☆クラブ (14:30~15:30)		6時間目 (14:50~15:35)
基本下校時刻	1~6年…14:40 路線バス…15:50	1~2年…15:00 3~6年…15:45 路線バス…15:50	6年・委員会・クラブ・野球 5~6年…15:25 (クラブあり15:45) 路線バス…15:50	1~2年…15:00 3~6年…15:45 路線バス…15:50	1~2年…15:00 3~6年…15:45 路線バス…15:50

*児童下校

月 …… 14時40分(路線バス 15:50)

水 …… 14時40分, 15時25分(路線バス 15:50)

火木金…… 15時00分, 15時45分(路線バス 15:50)

*通学方法

路線バス 1名 徒歩 44名

うるわしき心

- ・人との関わりを大切にし、
さわやかなあいさつと返事を交わし合います
- ・相手のよさを見付け、伝え合います
- ・子どもの権利条約を学び、命を大切にします
「いじめをしません、させません、許しません」

元気な体

- ・めあてに向かって
地道に取り組み、体と心を鍛えます
- ・規則正しい生活を送ります
①早寝と早起きで、よいスタート
②きまりよい学校生活、家庭生活
- ・食事のバランスやマナーについて知り、
望ましい食習慣を身に付けます

よく学び

- ・主体的、対話的に学び、「分かる、できる」を増やします
- ・基礎・基本を確実に身に付け、
活用して、課題を解決します
(思考力・判断力・表現力の育成)
- ・家庭学習で、3つの力を鍛えます
①学年相応の学力(予習・復習)
②一人で学習する力
③望ましい生活習慣を継続する力

清き夢

先輩の願い

笑顔いっぱい
仲間と協力し合える
何でもチャレンジできる
はりきり うみかわっ子

うみかわっ子 リーダーの願い

元気いっぱい
あいさついっぱい
誰とでも関わって助け合える
やさしい うみかわっ子

家族の願い

- ・心と身体が健康でたくましい子
- ・あいさつができる礼儀正しい子
- ・将来、いい大人になる子

ふるさと 西海の願い

- ・地域の大人と子どもが
素敵なかいさつを交わすまち
- ・大人同士が関わり合える
活気あるふるさとづくり
- ・学校と地域が連携して
夢を語り合う西海

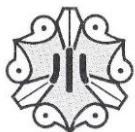
教育目標

うるわしき心
よく学び 元気な体
清き夢



糸魚川市立西海小学校
令和7年度
グランドデザイン
公式HP





糸魚川市立糸魚川東小学校

所在地 糸魚川市東寺町 2-4-1

校長 西 健志

教頭 角鹿 康武

☎ 025(552)2700

fax025(552)5256

Email magatama@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	2	2	2	4	16
男子	28	19	23	24	22	23	15	154
女子	21	20	23	24	22	21	9	140
計	49	39	46	48	44	44	24	294

等を育てる。

(2) 道徳の時間

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、人間関係を築こうとする態度や、善惡の判断をし、責任のある行動をしようとする態度を育てる。

(3) 外国語科・外国語活動

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、表現に親しみながら、進んでコミュニケーションする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな学びと豊かな心を育成する。

豊かな学びとは、①果敢にチャレンジし、自ら課題を見付け、考え、問題を解決する力、②各教科での学習を生かしたバランスの取れた判断力、総合的な見方・考え方を働かせる力、③豊かで個性的な表現力やコミュニケーション能力

豊かな心とは、①自立心や強調心、思いやりの心を身に付け、他と積極的に関わろうとする気持ち、②自分のよさに気付き、自分に自信をもち、自己の生き方について考えようとする気持ち

(5) 特別活動

友達と合意形成を図り、支え合い協力しながら活動したり最後まで自分の役割をやり通したりする態度を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

温かい人間関係が築かれた集団の中で、のびのびと活動する中にもけじめのある学校生活を送ることができるようとする。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

●核となる行事や活動を中心にして、共感的な人間関係づくりを行う。

●望ましい生活習慣を身に付け、いじめ防止を図る。

●プラスのフィードバックに努める。

●児童の実態に即した生活目標の取組とSSTの実施

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S55年 糸魚川東小学校開校

H19 国立教育政策研究所指定「我が国の伝統文化を尊重する教育」研究発表会

H22 校舎耐震改修工事完了

R1 創立40周年事業実施

(2) 教育課題

□人間関係づくりの能力の育成

□基礎学力の定着と家庭学習の習慣化

□健康習慣の育成

□個々に応じた指導の充実

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

(2) 重点目標

●望ましい人間関係を築く子

●意欲をもって学習に取り組む子

●活力ある毎日を送る子

(3) 重点目標達成のための方策

●明るいあいさつと正しい言葉遣いの習慣化

●相談し合い助け合う集団づくり

●互いにきまりを守り、居心地のよい日常の実現

●学びを深める言語活動と授業展開の工夫

●基礎基本の定着や集中力の育成

(朝学習、自主学習の取組)

●自分を高める家庭学習の推進

●生活リズムと食に関する指導の推進

●電子メディアとの上手な付き合い方の指導

●個々の体力が高まる体育指導の工夫

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

授業改善を通じて、主体的な学習態度を養い、基礎的な知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

数学的な見方・考え方を働きかせ、問題解決に向かう児童の育成

(2) 研究の内容

数学的な見方・考え方を働きかせながら、数学的な活動を充実させていく指導方法について

- ① 授業研究を行い、研究主題について明らかにしていく。「物事を考える視点」「思考の進め方や方向性」に焦点を当てて授業を構想して実践する。また、公開授業後に協議会を行い、効果的な手法や発問について明らかにしていく。
- ② 児童が安心して学習できる環境にするため、普段の学級経営や特別活動にも力を注いでいく。間違えを恐れない、自分と他者の考えの共通点や相違点に気付き、学習を進める。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域の人々やジオサイトなどの歴史・文化・自然から学び、地域に対する誇りと親しみや愛着を育てる教育活動を行うようにする。

- ① 3年生…地域を知り、楽しみながら 地域の自慢を見つけよう
- ② 4年生…糸魚川でSDGs
～これからも素敵な糸魚川であるために～
- ③ 5年生…糸魚川は食材の宝石箱や～！

(2) キャリア教育

学校生活の中で自分の役割や適正を見つけ、周囲と協力して責任を果たすようにする。

- ①低学年…学級での係や当番活動の実施や地域の方とのふれあい活動
- ②中学年…社会科の町探検や見学での職業理解
- ③高学年…糸魚川PR活動と職業調べの実施

(3) 特別支援教育

- ①一人ひとりの個性・特性、教育的ニーズに応じた指導

・分かりやすい個別の指導計画の改善と実践

- ②校内委員会を中心とした全教職員の共通理解に基づく取組

・個別の指導計画の共有と全校体制の取組

- ③家庭、関係機関と連携したとぎれない支援
・家庭との綿密な連携及び通級指導教室担当者を中心した連携

(5) 情報リテラシー教育の推進

- ・SNSに係るいじめやトラブルを防止する取組の推進
- ・保護者啓発のための学習会の実施

(4) 朝学習

毎朝8時25分～8時40分を朝学習と位置付け、全校一斉に取り組む。

- 月、火曜日…漢字学習、音読
- 水曜日…計算練習・算数の学習
- 木曜日…読書
- 金曜日…自学プランを立てる
学級裁量

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭20 ○講師1
○養護教諭1 ○事務主事1 ○管理員1
○教育補助員6 ○事務補助員1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 学区協議会長、民生児童委員、交通指導員
公民館支館長、PTA代表

【検討課題】

- 育てたい子ども像の実現に向けた組織的な取組
○登下校時における児童の安全確保について
○生活科や総合の教育活動への助言や参画

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15~8:25	朝の会				
8:25~8:40	朝学習(漢字・音読)	朝学習(漢字・音読)	朝学習(算数・算数)	フリセイゼン・読書	学級裁量
8:40~9:25	1限				
9:30~10:15	2限				
10:15~10:35	20分休み				
10:35~11:20	3限				
11:25~12:10	4限				
12:10~12:55	給食				
12:55~13:40	昼休み				
13:40~13:55	清掃 13:40~14:25	5限 13:40~14:25	清掃(集合) 14:30~15:15	[特別取扱時] 5限 6限 委員会 または 5限 クラブ 終礼 15:30~16:10	清掃 5限 6限 5限 6限 課外
14:00~14:45	5限	6限	5限		
14:50~15:35	会議 研修 終礼	課外 15:30~16:10			
	~16:45				

*児童下校 15時50分(課外 16時45分)

*通学方法 徒歩294名



令和7年度 糸魚川東小学校グランドデザイン

糸魚川市子ども一貫教育：学校・園、家庭、地域の交流と連携

糸魚川中学校区が目指す子ども像：自分で考え 行動できる子ども

【教育目標】 やさしく かしこく たくましく



笛吹きっ子の合言葉：安全 安心 向上心

【安全】 命・健康を守ること

【安心】 相談できる人や居場所があること

【向上心】 自分も仲間も、今よりもっと高めようと努力すること

やさしく（豊かな心）

望ましい人間関係を築く子

○挨拶・返事・言葉遣い

（人間性向上の第一歩）

○相談・協力・認め合い

（特別活動等をとおして）

○きまりを守って安心空間

（人権が守られる場）

かしこく（学力向上）

意欲をもって学習に取り組む子

○授業の決め手はテンポと集中

（心地よい緊張感を生み出す）

○言葉で伝え学び合う集団

（主体的、対話的な学び）

○自分を高める自主学習

（隙間時間の活用、家庭学習）

たくましく（健康・体力）

活力ある毎日を送る子

○生活リズムと食育の推進

（今の習慣が未来の自分をつくる）

○電子メディア使用時間調整

（自己制御可能な使用）

○体力を高める体育指導

（継続化、重点化、場の確保）

学校運営協議会

目指す子ども像：地域を愛し、地域と共に成長する笛吹きっ子

～学校・地域・保護者の連携による、目指す子ども像の実現～

■地域の教育力、教育資源（人・もの・こと）を積極的に活用した教育活動の展開

■社会性を育成する、児童によるアルミ缶回収の実施

■「あいさつ+1いいね」の励行

教職員の構え

- ◆授業と特別活動で学級づくり
- ◆率先垂範（人生の先輩として）
- ◆教師自身も凡事徹底
- ◆加点式・上向きとなる指導
- ◆校内での学び合いの充実



地域・家庭との連携・協力

- ◆互いに顔の見える関係づくり
- ◆地域の課題の情報交換、情報共有、行動
- ◆防犯・安全のためのネットワークの充実
- ◆笛吹きっ子の将来を見据えた取組
- ◆校内外での人の関わりを重視した取組



糸魚川市立糸魚川小学校

所在地 糸魚川市中央 1-2-1

校長 富永 浩文

教頭 松葉 大吾

☎ 025(552)0042

fax 025(552)1304

Email itosyo@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	2	2	2	7	19
男子	22	29	29	34	31	37	29	182
女子	17	37	32	14	19	28	5	147
計	39	66	61	48	50	65	34	329

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- M 5 柏崎県学糸魚川分校として開校
T 12 現在の校歌（第2校歌）制定
S 55 糸魚川東小学校と分離
H 13 新講堂竣工
H 17 高田養護学校ひすいの里分校併設
H 26 新校舎完成竣工式

(2) 教育課題

- 知識・技能の習得と判断力・思考力・表現力等の育成
□違いを認め、他者と関わる力の育成
□健康的な生活に向けた実践力の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく ゆたかに たくましく」

(2) 重点目標

- ともに学びを深める子

(3) 重点目標達成の方策

- 自他を大切にし、違いを認め合う心を育てる。
●安心して自分を伸ばそうとする力を育てる。
●諸問題を解決するための基礎を習得する力を育てる。
●知識や経験をつないで、そぞう（想像・創造）する力を育てる。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

安心できる環境のもとで、多様に考えを出し合い、自分の見方や考えを広げる子を育成する。

(2) 道徳の時間

人や自然とのかかわりを大切にし、思いやりの心をもつ子を育成する。

(3) 外国語活動

外国語を使って積極的に自分の考え方や思いを伝え合う児童を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな感性と互いに生き生きと学び合える人間関係を育成する。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して、心身の調和がとれた発達と個性の伸長を図る。

互いのよさや自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

違いを認め、他者を受け入れながら一緒に活動しようとする子どもの育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 互いのよさを認め合い、児童一人ひとりが自己存在感のもてる学級経営を行う。
●命の大切さを指導し、生命尊重の心を育てる。
●児童理解研修等で情報交換をし、全職員の共通理解のもと、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「人・もの・こととのかかわりを通して、考えを深める子どもの育成」

(2) 研究の内容(抜粋)

学年の発達段階や学級の実態に合わせ、以下の3つを意識しながら、年間の見通しをもって授業や学級づくりを充実させていく。

- ①心理的安全性のある学級づくりの工夫
- ②話す・聞く・書く活動の工夫
- ③考えを深める活動の工夫

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

身近なジオパークを教材にした生活科・総合的な学習の時間での体験や活動を通して、ふるさと糸魚川への愛着や誇りを形成する。

3年生：地域を探検し、自然や社会的事象とふれあい、地域のよさを発見しようとする子を育てる。

(2) キャリア教育

他者との関わり、自分らしさに気付き、夢や目標に向かって自ら努力できる子どもを育てる。

- ①低学年…係活動や当番活動、家でのお手伝い
- ②中学年…社会科での町探検、施設見学等
- ③高学年…様々な人の関わりや職場体験活動

(3) 特別支援教育

- ①コーディネーターを中心に校内支援委員会を開き、実態把握をし、支援方法を決定する。
- ②スムーズに途切れない支援ができるように指導計画・支援計画を修正・活用する。

(4) 学力向上いといがわプラン

①授業改善

- ・「授業改善5つのポイント」について配付・共通理解を図る。授業改善について定期的に振り返る機会を設ける。

②学習の基盤づくり

- ・生活科・総合的な学習の時間の年間計画を作成するにあたり、学習基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力をどの場面でどのように育成するか、教科横断的な視点をもって編成する。学期に1回振り返り、計画を改善していく。

③確実な学習習慣づくり

- ・学年の発達段階に応じ、家庭学習カードを工夫したり家庭との連携を図ったりしながら、家庭学習習慣の定着に努める。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 25 ○講師 2
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○主事 1
- 非常勤講師 1 ○言語（幼） 2
- 教育補助員 9 ○司書 1 ○管理員 2
- 事務補助員 1

8 学校運営協議会（該当校）

【委員の構成】 15名

○後援会長、地区代表、民生児童委員、PTA等

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 教育課題解決に向けた協働的な取組
- 児童の安全・安心を守る協働的な取組

□□ 日課表 □□

令和7年度 校時表				
月	火	水	木	金
登 校				
8:15	朝 の 会			
8:25	パワーアップタイム (モジョール)	パワーアップタイム (モジョール)	パワーアップタイム (モジョール)	パワーアップタイム (モジョール)
8:40	1限	1限	1限	1限
9:25	学 習 準 備			
9:30	2限	2限	2限	2限
10:15	20 分 休 み			
10:35	3限	3限	3限	3限
11:20	学 習 準 備			
11:25	4限	4限	4限	4限
12:10	（スマイルの会）			
12:55	給 食			
13:40	昼 休 み（職員休憩時間 12:55～13:40）			
13:55	5限	清 扫	5限	清 扫
14:00	学習準備			
14:25	5限			
14:30	（学習準備・待合の会～14:30）			
14:45	5限			
14:50	（1・2年なし）			
15:15	6限	学 習 準 備	6限	学 習 準 備
15:25	（1・2年なし）	6限	（1・2年なし）	6限
15:35	（1・2年なし）	委員会活動 クラブ活動	（1・2・3年なし）	（1・2・3年なし）
15:45	（三部会・学生主会会）	（1・2年なし）	（1・2・3年なし）	（1・2・3年なし）
16:45	終 化	課外活動16:45 下校	（1・2年なし）	（1・2・3年なし）

※1年生は2学期からパワーアップタイムスタート
※下校時刻
月～1～2年14:40 3～6年15:30
火～1～2年15:40 3～6年15:50
水～1～6年14:40 委員会（5・6年）15:30 クラブ（4～6年）15:45
木～1～3年15:00 4～6年15:50
金～1～6年15:00

*児童生徒下校 5限時 15:00(14:40) 6限時 15:50(15:30)

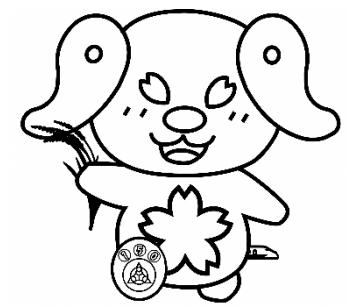
*通学方法 路線バス 7名 徒歩 322名

令和7年度 糸魚川小学校グランドデザイン



糸魚川市子ども一貫教育 教育方針

期待する子ども像：ふるさとに学び、たくましく生きる子ども



糸魚川中学校区共通

めざす子ども像：自分で考え 行動できる子ども

教育目標「やさしく ゆたかに たくましく」

重点目標 ともに学びを深める子

安心できる環境のもとで、多様な考えを出し合い、見方・考え方を広げ、生き方をつくる子ども

基礎的な力

諸問題を解決するための
基礎を習得する子ども

- ・「わかった！」「できた！」が生まれる授業改善への取組（まとめと振り返りのある授業）
- ・学習規律の徹底、学力向上いといがわプラン、家庭学習の習慣化(読書を含む)に向けた取組の継続

そうぞうする力

知識や経験をつないで
そうぞう（想像・創造）する子ども

- ・「やりたい！」「つくりたい！」「伝えたい！」思いや発想を語り、生かす活動の構想
- ・問題解決に向けた思考力、判断力、表現力等の育成（ＩＣＴ、思考ツール等の活用）

意 欲

安心して自分を
より伸ばそうとする子ども

- ・安心できる居場所、自己表出・仲間づくりができる学級、学年経営の充実
- ・充実感、自己肯定感を高める教育活動の工夫
- ・子どもたちが解決したい課題の工夫や、体験的・実感的な学びの重視

特別支援教育

人権教育、同和教育

学校運営協議会

PTA

後援会

道徳教育

ひすいの里総合学校との交流

学校支援ボランティア

交通指導員

防犯パトロール員

ともに生きようとする態度

自他を大切にし、違いを認め他者を受け入れ、
一緒に活動しようとする子ども

- ・自分と他者の良さや違いを認め大切にする教育活動の充実
- ・人と積極的にかかわること（あいさつ等）を通して、関係性を高め、ともに活動する楽しさを味わう教育活動の工夫

地域ぐるみで子どもをはぐくむ

子どもを真ん中にしてかかわりを深め、子どもをは
ぐくむ地域・家庭

- ・児童の安全や安心を守る地域での見守り活動
- ・子どもの社会性の育成や健康を守る取組（あいさつ、言葉遣い、メディア）
- ・保護者、地域の方の積極的な学校参画、行動連携



糸魚川市立大野小学校

所在地 糸魚川市大野 2044-1

校長 斎藤 雅彦

教頭 荒川 紀子

☎ 025(552)0095

Fax 025(552)0172

Email i-oono-s@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1		1		1	5
男子	2	5	4	4	4	4	1	33
女子	6	4	0	1	5	1	1	17
計	8	9	4	5	9	5	2	40

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 明治 6年 字西明寺の無毒庵を仮校舎とし、仮学校を設立
- 明治 9年 字江端 2038に新校舎完成
- 明治 21年 尋常科大野小学校と改称
- 明治 23年 現在地に校舎新築
- 昭和 22年 大野村立大野小学校と改称
- 昭和 28年 新校舎建築 落成祝賀会と併せて、創立80周年記念式を挙行
- 昭和 29年 糸魚川市立大野小学校と改称
- 昭和 48年 創立100周年記念の式典挙行
- 平成 5年 創立120周年記念の式典挙行
- 平成 12年 新校舎建築
- 平成 15年 創立130周年記念の式典挙行
- 平成 19年 キャリア教育文部科学大臣賞受賞
- 平成 25年 創立140周年記念の式典挙行
- 令和 2年 河川功労者全国表彰
- 令和 5年 創立150周年記念の式典挙行

(2) 教育課題

- 自ら考える力の育成と確かな学力の定着
- 豊かな心と共感的な人間関係づくり
- いじめ・不登校ゼロ
- 体力の向上と健康な生活習慣の確立
- 郷土を大切にする教育の推進

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

ひとりで(自立) みんなと(共生) さらに(挑戦)

(2) 重点目標

○互いに学び合い自分の考えを深める子の育成

- 温かくかかわり合い互いを大切にする子の育成
- 望ましい生活習慣を身に付け楽しく体つくりにはげむ子の育成

(3) 重点目標達成の方策

- 学びを支える学習の基盤作り（学力向上いといがわプランの推進）<自立>
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善<共生>
- 家庭と連携した学習習慣の形成<挑戦>
- 自他ともに大切にする心を育てる道徳・人権教育、特別支援教育の充実<自立>
- 温かく、居心地のよい学級づくり<共生>
- 互いのよさを認め合えるような交流の場の設定<挑戦>
- 健康な体を育み、運動が楽しいと感じられる授業の工夫<自立>
- 望ましい生活リズムの習慣化<共生>
- メディアとの適切なかかわり方の啓発<挑戦>

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、糸魚川授業改善5つのポイントによる授業改善を全校体制で取り組む。

(2) 特別の教科道徳

- 道徳的価値について理解し、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語科（外国語活動含む）

- 外国語を用いて他とのコミュニケーションを

楽しむとともに、自分の気持ちを伝えようとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

- 体験活動を中心とし、仲間と力を合わせて課題を解決する等、子どもの自立と自主性、自発性を育成する。

(5) 特別活動

- 自治的諸活動や集団活動において合意形成を図ったり意思決定したりして、人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、他者と協働して自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- #### ○自己指導能力の育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- ①自己存在感を与える場や方法の充実
 - ②共感的人間関係を育む場や方法の充実
 - ③自己決定する場の提供
 - ④安全・安心な風土の醸成

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」

(2) 研究の内容

- 「目指す子どもの姿」を明確にした授業
 - 「子どもが学びたくなる」授業

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

- 地域素材や地域講師を活用し、ふるさと糸魚川への愛着や誇りの形成・持続可能な発展の視点などの見方、考え方を育成する。

(2) キャリア教育

- 他者とのかかわりを通して自分らしさに気付
き、夢や目標に向かって努力する力を育てる。

(3) 特別支援教育

- 児童一人ひとりの実態を把握し、それに応じた指導方法を工夫・改善することによって、

児童に必要な支援を行い、児童のもつ力を高める。

○児童一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、伸ばしながら、自分らしく生きていくための力を育てる。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 5 ○講師 1
 - 養護教諭 1 ○事務主事 1 ○教育補助員 1
 - 管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】

- 区長、公民館長、主任児童委員、青少協会長、
社会福祉協議会支部長、保育園長、公民館主
事、P T A三役、校長、教頭

【CSとしての課題】

- 「子どもは大野の宝」を理念とした実践
地域に愛着をもてる活動の充実を図る。

□□ 校時表 □□

令和7年度 校時表		(★・・・チャイム)				
		月	火	水	木	金
学級朝会		★8:15				
朝の活動	8:25	朝活動	朝活動・朝会	朝活動	朝読書	朝活動
	★8:40					
	9:25					
1	9:30					
	★10:15					
実習休み		20分休み				
3	★10:35					
	11:20					
4	11:25					
	★12:10					
給食		給食(40分)				
昼休み	12:50	昼休み(30分)				
	★13:20					
通勤	13:20~13:35	5分	5限	5限	5限	5限
	13:20~	14:05	13:20~	14:05	13:20~	14:05
	5限					
	13:40~	14:25	13:40~	14:25	13:40~	14:25
	朝の会(10分)		朝の会(10分)	朝の会(10分)	朝の会(10分)	朝の会(10分)
	14:35~	15:20	14:35~	15:20	14:35~	15:20
	委員会		クラブ	6限	6限	6限
	14:35~	15:20	14:15~	14:15~	14:15~	14:15~
	下校		14:15~	15:00	14:15~	15:00
	14:35	5分	14:15~	15:00	14:15~	15:00
児童 下校 時刻	①~⑥	(1)~(3)	①~⑥	(1)~(2)	(1)~(2)	(1)~(2)
	14:35	14:35	14:15	14:15	14:15	14:35
	④~⑩		③~⑩	③~⑩	③~⑩	③~⑩
			15:25	15:05	15:05	15:25
				15:05	15:05	15:05

*通学方法 路線バス 1 徒歩 39 名



糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念
『ひとみかがやく日本一の子ども』

- 心・健康・学力のバランスのとれた子どもを育てます
- 一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てます
- ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子どもを育てます
- 家庭、地域、園・学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てます



大野小学校の教育 ～「子どもは大野の宝」～

令和7年度
創立152年

<糸魚川中学校区連携組織「ひすいプロジェクト」>
<目指す子ども像>
自分で考え 行動できる子
<重点目標>
・自分の考えを伝え、互いに学び・高め合う学習の創出
・他者との関わりの中で学ぶ社会性の育成

＜教育目標＞

ひとりで（自立）みんなと（共生）さらに（挑戦）

〈学校運営の基本方針〉

- 一人ひとりの子どもに、学ぶ楽しさを実感させ、豊かな心や確かな学力、たくましい心身を培い、夢に向かって挑戦する子どもを育てます。
- 大野の「人・もの・こと」に進んで関わり、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育てます。

心育て
温かくかかわり合い
互いを大切にする子

【重点事項】
(1) 自他ともに大切にする心を育てる
道徳・人権教育、特別支援教育の充実 【自立】
(2) 温かく、居心地のよい学校・学級づくり 【共生】
(3) 互いのよさを認め合えるような交流活動の推進

＜自立 共生 挑戦＞←育成を目指す資質・能力

学力向上<思考力・判断力・表現力>

体つくり<運動習慣・望ましい生活習慣>

心育て

<あいさつ・返事・言葉づかいと
いじめ見逃しぜロ>

学力向上

互いに学び合い 自分の考えを深める子

【重点事項】

- (1) 学びを支える基礎学力の定着
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する全校体制の授業改善
- (3) 家庭と連携した学習習慣の形成

体つくり

望ましい生活習慣を身に付け

楽しく体つくりにはげむ子

【重点事項】

- (1) 健康な体を育み、運動が楽しいと感じられる授業の工夫 【自立】
- (2) 望ましい生活リズムの習慣化 【共生】
- (3) メディアとの適切な関わり方の啓発 【挑戦】

【地域との結び付き】 コミュニティ・スクール ［地域の熱い思いと期待に応え、地域とともに歩む学校づくり］

目指す教育「子どもは大野の宝」ひとりで（自立）みんなと（共生）さらに（挑戦）

大野区

社会福祉協議会

地域ボランティア

大野公民館

青少年育成協議会

PTA・家庭

大野保育園

民生委員・児童委員

糸魚川中学校

子育て連絡協議会

家庭・地域への
情報発信
・各種たより
・ホームページ

家庭・地域との連携
・家庭学習習慣の定着
・規則正しい生活リズム
・明るいあいさつ

公民館活動や
地区行事への参加
・青少協キャンプ
・青少協スキー＆スノボ

地区との共催
・文化祭
・子育てトーク

保育園、学校間の連携強化
・大野保育園…保小連携協議会
　　園児との交流
・小学校…西大根(西海・大野・根知小)、他地域の小学校との交流





糸魚川市立根知小学校

所在地 糸魚川市東中 5121-1
校長 飯田 美輝夫
教頭 加藤 剛
☎ 025(558)2100
fax025(558)2109
Email nechi@itoigawa.ed.jp

2025 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1			1			0	2
男子	1	0	0	1	0	3	0	5
女子	1	0	2	1	0	1	0	5
計	2	0	2	2	0	4	0	10

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S48 下根知小、上根知小、蒲池小を統合し、根知小学校として開校
H11 9月現在の地へ移転
H14 小瀧小、山之坊小を統合。創立30周年記念式典の挙行
H24 創立40周年記念式典、講演会、祝賀会の挙行。ブランコの設置及び植樹
R4 創立50周年記念式典、文化祭、祝賀会の挙行。鉄棒の設置

(2) 教育課題

- 学習規律を守り、学習がしっかりとできる子どもを育てる。
○地域の人や自然・文化と主体的にかかわり、よりよい生き方を追求できる子どもを育てる。
○誰とでも思いやりの心で関わり、互いのよさを認め合える子どもを育てる。
○めあてに向かって体力づくりや健康づくりに励み、心身ともにたくましい子どもを育てる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「考える子 助け合う子 がんばる子」

(2) 重点目標

- 自分の考えをもち、課題を解決する子
○自分と相手を大切にし、積極的に関わり合う子
○進んで体を動かし、望ましい生活リズムを身に付ける子

(3) 重点目標達成のための方策

- 児童一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できるよう特別支援教育の視点から、個に応じた学習指導を推進する。
○わが糸魚川の郷土根知を学ぶ学習を充実させ、根知に愛着と誇りをもつ心を育む。
○自己肯定感を高め、共感的な人間関係づくりが行えるよう、児童一人ひとりに寄り添いながら、児童同士、さらに地域の人々と主体的に関わる教育活動を実践する。

○めあてをもち、粘り強く心身を鍛えるとともに、望ましい生活習慣が身に付くよう家庭と連携しながら保健指導の充実を図る。

○全ての教育活動を通じて、生命の大切さを実感させるとともに、家庭や地域と連携した地域防災教育の一層の推進を図る。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、主体的、対話的に学ぶ力を育てる。

(2) 道徳の時間

自己や他者、社会にとって、人として望ましい行動を進んでしようとする態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人々、物、自然と関わり、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

(5) 特別活動

学級での話し合い活動や縦割り班活動を通して、自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成を図る。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

誰にでも明るい挨拶ができ、いろいろな人と思いやりをもって関われる児童を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

○「明るい挨拶 声かけ合って やさしい言葉」を学校、学級で推進し、いつでも誰にでも明るい挨拶ができる子の育成に努める。

○互いのよさを認め合える温かい学級、学校づくりを進める。

○毎週1回、情報交換会を行い、全職員で児童に関わる情報を共有し、迅速・適切な指導を行う。

○児童の問題行動等の発生時は、担任が一人で抱え込むことなく、いじめ対策委員会などを開き組織的に取り組む。

- アンケートや教育相談等を定期的に実施し、いじめや問題行動の早期発見に努める。
 - PTAや地域と連携し、挨拶運動、交通事故防止、非行防止の推進に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成」
(2年目)

(2) 研究の内容

対話の結果、一人一人の技能や表現、主体性がさらに向上するように、Cloud を使い学びの履歴を取り入れた研究を進める。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

特別活動や総合的な学習の時間との関連を図り、地域の自然や人々と関わりながら、体験活動を効果的に取り込み、ふるさとへの誇りと愛着を持つことができるようとする。

- ① 根知の文化ジオパーク
 - ・おててこ舞、七夕飾り、十二社相撲
 - ② 根知の自然ジオパーク
 - ・塩の道、根知川、市内ジオサイト

(2) キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）

新潟県アントレプレナーシップ推進事業の指定を受け、様々な人との関わりや体験活動を通して、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

- ① 低学年・・・係活動の実施、地域の人との触れ合い活動
 - ② 中学年・・・地域の伝統芸能を引き継ぐ人との交流活動
 - ③ 高学年・・・糸魚川で働く人との交流、体験活動を通して糸魚川の魅力を発信する学習

(3) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援と個別の指導計画を基にした指導方法の工夫・改善に努める。
 - ② 全教職員の情報共有と保護者や関係機関との連携を図り、途切れない指導・支援を推進する。

(4) 勉強向上いといがわプランの継続

① 實施の概要（時間 内容）

月から木曜日までの週3回、音読・ます計算・漢字に取り組む。

② 子どもの様子

継続することで、漢字の正答率が上がり、ます計算のタイムも縮まっている。また、朝学習の流れや学習の仕方に慣れ、正確さや集中力が高まってきている。

(5) クラス会議を中心とした学級経営の充実

自己肯定感、所属感を高めるための学級経営を充実させる。クラス会議を活用することで一人ひとりが意欲的に学習し、楽しい学校生活を送ることができるようとする。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 2
○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 13名

- 振興協議会長、学識経験者、PTA会長、
公民館長、根知地区青少年育成協議会会长 等
 - 学校応援隊他

【C/Sとしての課題（熟議の課題）】

- 根知っ子の実態とを目指す姿
 - 地域と学校の持続可能な連携体制について

時間割		時間	月	火	水	木	金
朝	8:10		朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
	8:25		朝学習	朝学習	朝読書 ツッ化物洗口	朝学習	8:25 朝清掃(自教室等) 8:35
	8:40 ① ② 9:25	⑥		⑫		⑯	⑭
	9:30 ③ ④ 10:15	⑦		⑯		⑯	⑮
根知っ子タイム							
3	10:35 ⑤ 11:20	⑧		⑯		⑯	⑮
	11:25 ⑥ 12:10	⑩		⑯		⑯	⑮
4	12:10 ⑦		給食				
	12:50		昼休み				
5	1:35 清掃 1:50	⑪ 1:55 2:20 2:40	1:35 2:20 2:35発	1:35 1:50 2:40	1:35 2:20 2:35発	1:35 2:20 2:35発	1:35 2:20 2:35発
	繰りの会 2:20~2:30			1:55			
	2:55発						
6	繰りの会 2:40~2:50 2:55発	⑫ 2:35 3:20	2:35 2:55発	繰りの会 2:40~2:50 2:55発	2:35 3:20	2:35 3:20	2:35 3:20
	3:05 ~ ①情報交換会 ②職員終会 ③職員会議	3:25発			3:25発		3:25発

*児童生徒下校 5限時 14:55
6限時 15:25

*通学方法 周童全冒 スクールバス

●学校経営方針

- ・認め、褒めるとともに、適切な指導・助言を行い、子どもの自己肯定感を育む教育の推進
- ・子ども一人ひとりの特性を生かした活躍の場を設ける教育活動の推進
- ・地域を学習の場とした体験活動や、地域の人材を生かした教育活動の推進

ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ（子ども一貫教育）

令和7年度 根知小学校の教育

「地域とともに生きる」学校づくり



教 育 目 標

「考える子 助け合う子 がんばる子」

●糸魚川市の期待する子ども像

「ふるさとに学び、
たくましく生きる子ども」

●糸魚川中学校区が目指す子ども像

「自分で考え、行動できる子ども」

■めざす子どもの姿

**自分の考えをもち、
課題を解決する子**



【基礎基本の定着のために】

- 「学力向上いといがわプラン」を推進し、基礎学力の定着と集中力の向上を目指します。
- 「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりに努めます。
- 家庭と連携し、家庭学習の充実を図ります。

【自ら学ぶ力の育成のために】

- 地域と関わり、根知に愛着と誇りをもつ子を育てます。
- 自分の考えを「かく」活動や、相手に分かりやすく伝える活動を重視します。
- ICTを効果的に活用し、一人一人の学びに応じた学習活動を推進します。

■めざす子どもの姿

**自分と相手を大切にし、
積極的に関わり合う子**



【豊かな心の育成のために】

- 道徳教育、人権教育、同和教育を基盤とします。
- 学級での話し合い活動や縦割り班活動を充実させます。
- 交流活動（保小・小小・小中・異年齢）を推進します。
- 学校間交流を推進します。

【いじめや不登校解消のために】

- 温かく、居心地のよい学級づくり・学校づくりを進めます。
- あいさつや思いやりのある言葉遣いが定着するよう指導します。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、児童一人ひとりの自己有用感を育みます。

■めざす子どもの姿

**進んで体を動かし、
望ましい生活リズムを
身に付ける子**



【体力向上のために】

- 柔軟性や筋持久力が高まる運動や遊びに力を入れます。
- 体育学習カードを効果的に活用し、粘り強く運動に取り組む機会を設けます。

【望ましい生活リズムの定着のために】

- 生活習慣について学ぶ機会を設定します。
- 望ましい生活習慣を身に付ける「生活リズム強調週間」を実施するとともに、その成果・課題をたより等で発信し、家庭や地域へ啓発を図ります。

防災教育 ジオパーク（地域）学習 キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）



保護者の皆様へお願いしたいこと

- ・朝食をしっかりと食べさせて登校させる。
- ・落ち着いて家庭学習ができる環境をつくる。
- ・「はい」「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんね」を言える子にする。
- ・1日1回以上はお子さんの目を見て、話を聞く。
- ・生活リズムを整えるために、下学年 21:30、上學年 22:00 までに寝かせる。
- ・お子さんと一緒に電子メディアのルールを守らせる。
- ・地域の行事には積極的に参加させる。



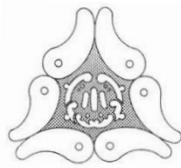
子ども一貫教育のために学校と園、チーム学校で！

- ・中学校への進学がスムーズになるよう糸魚川中学校区の小学校や中学校との連携・交流を深めます。
- ・司書、ALT、カウンセラー、相談員、学校運営協議会等と連携し、教育活動を充実させます。

地域の皆様へお願いしたいこと



- ・子どもは「地域の宝」です。みんなで育てましょう。
- ・子どもにあいさつ等の言葉掛けをしてください。
- ・地域の行事に子どもたちを参加させてください。
- ・学校へたくさんお越しください。お待ちしております。
- ・様々な教育活動で、お力を貸してください。（教育ボランティア）（畑、歴史、読み聞かせ、スキー、グラウンド・ゴルフ 等）



糸魚川市立田沢小学校

所在地 糸魚川市田海 13 番地 2
校長 杉田 卓裕
教頭 山口 俊充
☎ 025(562)2215・2216
fax025(562)2216
Email tazawa-es@itoigawa.ed.jp

2025 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	5	9	10	15	12	18	11	69
女子	12	12	10	11	14	17	3	76
計	17	21	20	26	26	35	14	145

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 昭和 38 年 田海小学校と須沢小学校が統合し、田沢小学校が開校
平成 18 年 新校舎完成、旧校舎解体工事
平成 20 年 体育館、プール完成、竣工式
平成 24 年 県小研「総合的な学習の時間」研究大会
令和 5 年 創立 60 周年記念
令和 6 年 NIE 実践委嘱校（2 年次）研究発表会

(2) 教育課題

- 自らの人生を切り拓き、未来社会を創造する力を育てる

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

- すすんで取り組む子

(2) 重点目標

- 確かな学力と学習意欲の向上
- 豊かな心と好ましい人間関係の育成
- たくましい体の育成と生活習慣の定着

(3) 重点目標達成のための方策

- ・ 分割学習を含めた学力向上いといがわプランで示された基礎学力の定着
- ・ 中学校区や家庭と連携した「家庭学習習慣」定着の取組の推進
- ・ 「授業改善 5 つのポイント」を意識した授業改善
- ・ 地域とのかかわりを重視した「生活・総合的な学習」の推進
- ・ 自他の「命」を大切にする心の育成
- ・ 「役に立つ喜び」をもたせる活動の推進と自己有用感の育成
- ・ 日常的なあいさつや返事、感謝の言葉の奨励
- ・ いじめを許さず、互いを認め合うための振り返りの場の設定

- ・ 健康的な生活習慣づくりに向けた「生活リズム改善」「メディア接触時間コントロール」の取組の実施

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりに取り組む。

(2) 道徳科

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質能力を育てる。

(5) 特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

いじめを許さない意識の醸成や不登校の解消を目指した、認め合い、支え合う集団づくり

(2) 具体的な実践の方策

- ・ 自校のいじめ防止基本方針に基づいて、いじめ等の未然防止や早期発見、組織的対応

を行う。

- ・毎月「心の健康チェック」を行い、児童の困り感や問題を素早く把握する。
- ・縦割り班活動を中心とした豊かな体験と振り返りの場を設定する。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

主体的な学習者を目指した授業の在り方について～協働的な学びを支えるフィードバックを通して～

(2) 研究の内容

令和6年度までは、NIEの指定を受け、児童が新聞に楽しみながら触れ、主体的に学ぶことのできる授業づくりや環境づくりを充実させてきた。

今年度は、「一人一人のかがやきづくり」を教育理念のもと、学級づくりと授業づくりを両輪に校内研究を推進し、より一層児童が主体的に学習に取り組む姿を目指す。

主体的な学習者としての姿は自分から他者（ひとのこと）へのかかわりを行いながら、自ら課題を見つけ、学び方を選び、自分の見方・考え方を広げていく子どもの姿を求める。その求める姿へのアプローチとしては、協働的な学びを重視し、その協働的な学びを支えるフィードバックに焦点を当てて教職員の授業力の向上を目指す。フィードバックの質を上げることで児童や教師のメタ認知が向上し、深い学びの進化、学級内の親和性や関係性の充実が図られると考える。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

- ・ジオパーク学習を年間指導計画に位置付け、体験的・探究的学習を実施

(2) キャリア教育

- ・「キャリアアパスポート」の活用と、小中連携を考慮した取組の推進
- ・園と学校、家庭、地域及び事業所と連携した地域参画型のキャリア教育

(3) 特別支援教育

- ・園・学校体制で取り組む特別支援教育
- ・校内委員会を中心とした、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実
- ・個別の指導計画に基づいた教育活動
- ・特別支援学校及び通級指導教室等の関係機関との連携強化

(4) 学力向上いといがわプラン

- ・「授業改善5つのポイント」を視点にした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

(5) GIGAスクールいといがわ

- ・ICT支援員・情報教育推進員を中心としたiPad活用方法の校内研修と情報共有
- ・保護者・地域の情報リテラシーを高める講演会や研修会の実施

7 教職員の構成

○校長 1 ○教頭 1 ○教諭 14

○養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○主事 1

○学校司書 1 ○教育補助員 5

○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 13名

○後援会長・副会長 ○公民館長・自治会長

○関係行政機関職員 ○民生委員児童委員

○PTA副会長

【C Sとしての課題】

地域の人材を生かした、より充実した教育活動の推進。

1~6 令和7年度 校時表		糸魚川市立田沢小学校					
月・水・金の日程	時 間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
朝の会 8:10~8:20 (10)	火・木の日程 朝の会 8:10~8:20 (10) 音楽練習 提出物チェック 日替わり その他の					フッ化物洗口	
朝活動 8:20~8:35 (15)	朝活動 8:20~8:35 (15) くらしの対話 (リビング・ラーニング)	28	28	28	28	朝読書 (読み聞かせ)	
1限 8:35~9:20 (45)	1限 8:35~9:20 (45)	1	6	12	17	23	
移 動 9:20~9:25 (5)	移 動 9:20~9:25 (5)						
2限 9:25~10:10 (45)	2限 9:25~10:10 (45)	2	7	13	18	24	
休 間 10:10~ 10:30 (20)	休 間 10:10~ 10:30 (20)						
3限 10:30~ 11:15 (45)	3限 10:30~ 11:15 (45)	3	8	14	19	25	
移 動 11:15~ 11:20 (5)	移 動 11:15~ 11:20 (5)						
4限 11:20~ 12:05 (45)	4限 11:20~ 12:05 (45)	4	9	15	20	26	
休 食 12:05~ 12:50 (45)	休 食 12:05~ 12:50 (45)						
休 懇 12:50~ 13:20 (30)	休 懇 12:50~ 13:20 (30)						
清 描 13:20~ 13:35 (15)	5限 13:20~ 14:05 (45) ピースタイム (平和と成長のため に)	5限 13:20~14:05	10	清掃	21	清掃	
休 40 13:35~ 13:45 (20)				5限 13:20~14:05			
移 動 13:35~ 13:40 (5)							
5限 13:40~ 14:25 (45)	朝の会 14:05~ 14:15 (10) 移 動 14:10~ 14:15 (5)	5	1年帰りの会 14:05~14:15	16	1~2年帰りの会 14:05~14:15	27	
休 41 14:25~ 14:35 (20)			5限 13:40~14:25		5限 13:40~14:25		
移 動 14:35~ 14:40 (5)							
6限 14:25~ 14:55 (45)	6限 14:25~ 14:55 (45) 全校帰りの会	11	全校帰りの会	22	全校帰りの会		
休 42 14:55~ 15:05 (10)							
移 動 15:05~ 15:10 (5)							
6限 ★委員会10回 14:35~15:20 (1~4年下校) ★クラブ6回 14:35~15:20 (1~3年下校)	6限 ★委員会10回 14:35~15:20 (1~4年下校) ★クラブ6回 14:35~15:20 (1~3年下校)	2年以上帰りの会		3年以上帰りの会			

* 下校時刻 (月・水・金) 14:35

(火・木) 15:05

* 通学方法 スクールバス 10名 徒歩 135名

田沢地区の目標：「このまちが好き このまちの人が好き 好きなまちをみんなでつくる人」を育てる

地域の役割	学校の役割	家庭の役割
一人ひとりの子どもの心と体の安心・安全		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事、地域活動等で0歳から18歳までの子どもたちと積極的にかかわる。 ・子どもたちに学んでほしい人、もの、こと等の積極的提言やマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中を見通した地域の人、もの、ことを学ぶ場を設定する。(商店、事業所、地域の自然、歴史、文化、農業等) ・保護者、地域に教育活動を公開する。 (保護者から「家族」へ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に積極的に家族で参加する。 ・よりよい生活リズムを身に付けさせる。 ・将来の夢について話し合う。

教育目標：すすんで取り組む子

教育理念：一人一人のかがやきづくり～主体性と当事者意識の再生～

学校課題：自らの人生を 主体的に 切り拓き、未来社会を 自分事として 創造する力を育てる	校内研究：主体的な学習者を目指した授業の在り方について ～協働的な学びを支えるフィードバックを通して～
<p>確かな学力と学習意欲の向上</p> <p>○基礎的な知識や技能を身に付けた子どもを育てます。</p> <p>○自分の考えをもち進んで学習に取り組む子どもを育てます。</p> <p>[そのために]</p> <p>学力向上いといがわプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分割学習を含む基礎学力の定着 ・中学校区や家庭と連携した「家庭学習習慣」定着の取組の推進 ・「市指定：授業改善5つのポイント」を意識した授業の実施 ・地域とのかかわりを重視した「生活科・総合的な学習の時間」の充実 	<p>豊かな心と好ましい人間関係の育成</p> <p>○自分のよさに気付き、自分のよさを伸ばそうとする子どもを育てます。</p> <p>[そのために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさやがんばりが発揮される授業づくり ・「役に立つ喜び」をもたらせる活動の推進による自己有用感の育成 <p>○互いのよさを認め合い、よりよい人間関係をつくろうとする子どもを育てます。</p> <p>[そのために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで関わり、認め合う場（かがやきタイム）の設定 ・いじめ許さず、自他の「命」を大切にする集団づくり ・縦割り班活動を中心とした豊かな体験と振り返りの場の設定 <p>たくましい体の育成と生活習慣の定着</p> <p>○めあてに向かって自ら体を動かす子どもを育てます。</p> <p>[そのために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを実感できる体育授業の充実 ・体力テストの結果をもとにした運動課題の克服 ・技能及び気力・体力の向上を図る体育的行事の充実 <p>○望ましい生活習慣を身に付けて子どもを育てます。</p> <p>[そのために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活習慣づくりに向けた「生活リズム改善」の取組の実施 ・保護者と連携した、電子メディアへの接觸時間のコントロール ・望ましい食習慣の定着を目指した食育指導の推進

よい授業で、よい学級をつくる
よい学級で、よい授業をつくる



糸魚川市立青海小学校
所在地 糸魚川市大字青海 382 番地
校長 小野 聰
教頭 橋本 和士
☎ 025(562)2027
fax025(562)2169
Email omi-es@itoigawa.ed.jp

2025年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	9	8	9	5	8	11	10	50
女子	5	7	3	13	13	6	2	47
計	14	15	12	18	21	17	12	97

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M 6 柏崎県学区青海村分校として開校
M 3 4 村立青海尋常高等小学校と改称
S 2 2 町立青海小学校と改称
S 3 0 大沢分校開設
S 4 3 大沢分校廃止
S 4 7 新校舎（現校舎）落成式
創立百周年記念式典挙行
S 5 0 橋立小学校統合
H 1 4 耐震補強及び大規模改修工事
H 1 6 糸魚川市立青海小学校に改称
H 1 7 歌外波小学校統合
文科省指定研究「人権教育」発表会
H 3 0 市振小学校統合
R 5 創立百五十周年記念式典挙行

(2) 教育課題

- 自分も友達も大切にする気持ちの醸成
- 進んで思いや考え方を伝え、学び合う力の育成
- 健康的な身体の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「心をこめて かかわる子」

(2) 重点目標

- 思いやりのある子
- よく考える子
- たくましい子

(3) 重点目標達成の方策

- 人権や命を尊重し、互いに認め合い、支え合う人間関係を築くことができるコミュニケーション力を育成する。
- 基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 基本的生活習慣を、自ら考え実践し、心身の健康を維持増進しようとする意欲や態度を養う。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

子どもが生涯学び続けていく基盤を築くために、学ぶ楽しさや成就感が実感でき、基礎・基本を確実に身に付けることができる授業づくりに取り組む。

(2) 特別の教科 道徳

人権、生命を尊重し、互いに認め合い、支え合おうとする実践的態度を育成する。

人権月間での学びの場を設け、保護者や地域との連携を図り、子どもの人権意識を高める。

(3) 外国語活動・外国語科

聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで地域にかかわり、探求課題を見付け、解決することを通して、学んだことを分かりやすく表現する力を育てる。

青海、歌外波、市振地域の素材と繰り返し関わる。

(5) 特別活動

多様な他者との集団活動に自主的・実践的に取り組み、学校生活や人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

一人ひとりの子どもが学校生活において充実感が得られるよう、個に応じたきめ細かな指導に努める。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 基本的な生活習慣の定着を図る指導の徹底
- 児童の気持ちを受け止める、共感的関係の構築
- 「生活アンケート」を活用した教育相談の実施
- 定期的な児童理解研修に基づく情報共有と、全職員による統一した指導
- 教育相談員やスクールカウンセラー、生徒指導支援員と連携した多角的な児童理解の推進
- 人間関係形成力の育成に向けた継続的な指導

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現

—子どもの声がつながる授業—

(2) 研究の内容

昨年度は、子ども同士が考えを伝え合ったり、聴き合ったりしながら、一人ひとりが活発に対話する姿を目指して実践を重ねた。教師からの「何で?」や「他には?」という問い合わせを行ったり、工夫した課題設定を提示したりすることで、より子どもたちの声がつながり、深い学びとなった。

今年度は、昨年度に引き続き「子どもの声がつながる授業」を主題にする。教師からの問い合わせを意識して行うと共に、子どもたち同士が疑問に思ったことや気付いたことを対話し、子ども主体で授業が進む場面が増えるようにする。日々の授業改善を大切にし、さらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間を通じて、糸魚川世界ジオパークの地理的な特徴や自然の豊かさに気付く。

- ①3年生…青海、市振地域に伝わる昔話や伝承
- ②4年生…青海川流域を中心とした岩石
- ③5年生…青海地域の自然環境
- ④6年生…青海地域と能生地域との地層の比較

(2) キャリア教育

地域素材を活用した体験、学習活動を通して、ふるさとへの愛や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育む。幼・保・小・中が連携してキャリア教育を推進する。

- ①低学年…生活科での飼育当番や野菜の世話
- ②中学年…社会科見学を通した地域理解、職業理解
- ③高学年…総合的な学習を通した課題解決・将来設計

(3) 特別支援教育

的確な実態把握に基づいて個別の指導計画の作成を図り、校内支援委員会での情報の共有と適切な指導・支援を推進する。

(4) 学力向上いといがわプラン

「授業改善5つのポイント」を意識した授業を行う。また、学級担任は、毎週、自己評価を行い、授業改善を進める。

7 教職員の構成

○校長 1 ○教頭 1 ○教諭 10 ○養護教諭 1

○栄養教諭 1 (田沢小学校と兼務) ○事務主事 1

○言語通級指導員 1 ○管理員 1 ○教育補助員 3

8 学校運営協議会

【委員の構成】 15名

後援会長、主任児童委員、民生児童委員、
公民館長、交通指導員、幼稚園長、
PTA会長・副会長、校長、教頭、教務

【CSとしての課題(熟議の課題と取組)】

○家庭・地域と目指す子どもの姿や目標の共有化

○地域素材を活かした教育活動の推進

□□ 日課表 □□

開始時刻	校時	月	火	水	木	金
8:15	朝学習	朝読書/朝活動	朝読書/朝活動	朝掃除	朝読書/朝活動	朝読書/朝活動
8:30	朝の会				朝の会	
8:40	1限				朝掃除の時 8:15～健常観察 8:20～清掃の音楽 8:35 清掃終了	
9:25	移動				準備・移動	
9:30	2限					
10:15	遊びタイム				遊びタイム	
10:35	3限					
11:20	移動				準備・移動	
11:25	4限					
12:10 12:50	給食				給食	
12:50 13:35	昼休み				昼休み(休憩)	
13:35	5限	13:35-13:50 清掃/集会 13:55				
14:20						
14:20-14:30 休憩・運動・掃除の会		14:20-14:30 掃除の会	14:20-14:30 準備・移動	14:20-14:30 準備・掃除・掃除の会	14:20-14:30 掃除の会	14:20-14:30 準備・移動
14:30下校						
14:25	6限	14:40-14:50 掃除の会 14:50下校	14:40-14:50 掃除の会 14:50下校	14:40-14:50 掃除の会 14:50下校	14:40-14:50 掃除の会 14:50下校	14:40-14:50 掃除の会 14:50下校
15:10 (15:10-15:20)						
		会議・研修・教材研究 15:10～				
			15:10-15:20 掃除の会 15:20下校	15:10-15:20 掃除の会 15:20下校	15:10-15:20 掃除の会 15:20下校	15:10-15:20 掃除の会 15:20下校
			月	火	水	木
						金

*児童最終下校 月(5限) 14時50分

火～金(6限) 15時20分

木クラブ活動あり 15時45分

*通学方法 スクールバス7名 路線バス5名



令和7年度 青海小学校 グランドデザイン

教育目標

心をこめて かかわる子

青海中学校区 目指す子ども像
郷土を愛し、他者を思い、
自ら考え、たくましく
生き抜く子ども

学校の取組

【思いやりのある子】☆自分も友達も大切にする

- ◎「相手に聞こえる声で自分から」を基本とした、気持ちのよい挨拶や返事 ※1
- ◎人、地域の自然、社会事象（歴史や文化、行事等）への心をこめたかかわり ※2
- ◎年間を通したファミリー活動（清掃、ファミリー班遊び、ファミリー班遠足、竹のからかい等）
- ◎道徳教育の充実と人権月間の取組

家庭の取組

- ◎気持ちのよい挨拶や返事の習慣化 ※1
- ◎「きずなプロジェクト」への協力

I
C
T
活
用
個別最適な学び
情報モラル
メディア視聴

【よく考える子】☆進んで思いや考えを伝え、学び合う

- ◎深い学びにつなげる対話のある学びと分かる授業づくり ※3
- ◎地域の特色ある自然や文化を学ぶ、段階的・計画的な学習(ジオパーク学習) ※4
- ◎中学校につながる家庭学習習慣づくり（中学校区統一の家庭学習強調旬間の取組）
- ◎読書旬間や読み聞かせなど、読書に親しむ機会の設定と読書量の向上

- ◎学習しやすい環境(時間・場所)整備
- ◎学年×10分以上の家庭学習の支援
- ◎読書に親しむ機会の設定

【たくましい子】 ☆健康的な身体をつくる

- ◎電子メディアとの付き合い方の指導
- ◎体力テストの結果を踏まえた体力向上の取組の充実（1学校1取組） ※5
- ◎自分の生活を振り返り、生活習慣の改善を図る取組(モンスター攻略ブック等) ※6

- ◎「電子メディア家庭のルール」の振り返りと改善 ※6
- ◎生活リズムの改善(早寝・早起き・おいしい朝ごはん)

◎太字は重点取組 ※下線は昨年度と変更点

※1～6 数値目標あり

青海地域連携を進める会の取組

地域との連携・協力

- ◎学校運営協議会による学校運営への参画
- ◎学校だより、HPによる情報発信
- ◎地域との連携による教育活動、地域行事への参加

きずなプロジェクト

家庭との連携・協力

- ◎PTA総会、運営委員会、専門委員会の取組
- ◎各種だより、HPによる情報発信
- ◎家庭との連携による教育活動、地域行事への参加

評価サイクルによる取組の見直し・改善